

的意味もふくまれてゐる。小學の初年級によまれるやうに片かなのものも所々にある。(初等初級以上、童話)

- 1514 **小學生全集14 日本文藝童話集 上** 菊池寛著  
1冊 菊判250頁 非賣品 日本橋區馬喰町二の一 興文社  
近代の文壇に著名なる文藝家の筆になる童話二十二編を収む。(初等中級、童話)
- 1515 **その後の文福茶釜** 宮尾しげを著  
1冊 四六判207頁 1.30 浅草區新旅籠町二〇 草文社  
つれづれの讀物。(初等、童話)
- 1516 **ほまれの十字章** 福永恭助著  
1冊 四六判340頁 1.60 日本橋區本石町 博文館  
世界大戰に於ける英獨海軍の武勇物語で、四船のキャンベル大佐、ジープルージュ港の大閉塞戰、怪巡洋艦エムデンの行方及び軍艦エムデン後日譚の四章である。明快流暢なそして勁健な書振りで、この大戰に英獨兩國に如何に多くの廣瀬中佐や橋中佐の輩出したかを説いてゐる。十字章と言ふのは英國のビクトリア十字章と獨逸の鐵十字章との何れをも含めて言つてゐる様である。蓋し青少年の志氣を鼓舞し又は海軍思想を助長するに有力なる良書と認める。(中等、戰記)
- 1517 **現代書翰文選** 窪田空穂著  
1冊 四六判418頁 1.80 浅草區柳橋通 岡村書店  
現代の書簡文の規範にあてる爲に明治時代以後の文士の書簡をあつめたものである。祝賀、見舞、弔慰、通知、謝絶等十五門に分けて約三百五十篇を採つてある。文體は主として國語體であるが、候文體も多少雜つてゐる。一篇々々にその人を異にし、その筆致を異にし、その事情を異にしてゐるので、單なる讀物としても割合に面白味があり、現代文範として見ても、先づ類書中の白眉といつてよからう。(中等、書翰)
- 1518 **蛙の放送** 澤田正二郎著  
1冊 四六判216頁 1.00 牛込區矢來町三 人文會  
著者は自ら蛙を以て任じてゐる。蛙は蛙でも枝垂柳に飛びつき得る迄飛びつく蛙である。その蛙の放送である。新國劇が今日の大をいた

すまでの大童の奮闘を知りたい人に、演劇を天職として舞臺に精進する澤正の眞摯さを知りたい人に薦める。讀む者はその努力振りに、其の眞劍さに思はず感激の涙を浮べるであらう。(大人、隨筆)

- 1519 **學校と家庭** 瀧澤又市著  
1冊 四六判216頁 1.50 京橋區銀座新橋際 文化生活研究會  
「我が子の入學」の姉妹篇。横濱の第二中學校長として現在その職に居る著者が熱烈なる教育愛の至情に驅られ、その卓越せる識見と多年實際經驗の立場とより現時の教育、殊に中等教育に於て家庭と學校との提携聯絡が不充分なるを大いに遺憾とし、この二者間に唇齒輔車の大關係あることが眞に理解せられ、密接に成つて始めて健全な青年が薰化育成せられることを、各章に實例を挙げ、熱心に説いて居る。實に教育界近來の良著として教育家、殊に中等教育に携る者先づ必讀すべく、又その子弟に中等以上の教育を受けさせてゐる世の心ある父兄も必ず、一讀すべき書物たることを信じ、こゝに特別推薦とする。(大人、家庭)
- 1520 **大平洋問題** 井上準之助篇  
1冊 四六判262頁 1.20 丸の内昭和ビル 日本評論社  
昭和二年夏ホノル、で開かれた第二回太平洋問題調査會に於て太平洋沿岸諸國から派遣された諸代表が論辯考究した大要を夫々の係員に於て記録させたのを一篇に集録したものである。同會の精神と事業とを知らせることは我が國と我が國民とを國際的ならしむるに最捷徑であり有効であると思ふ。文章簡潔ながら要を得、内容も有益多趣味である。(大人、政治)
- 1521 **ヘンリ・フォード** 有川治助著  
1冊 四六判326頁 1.00 芝區愛宕下町四の六 改造社  
自動車王として知らるゝフォードの人となり、企業精神より能率經營法を詳細に説いたものである。資本家、工場經營者等には絶好の參考資料であらう。機械的な精細な叙述の方法は誠に讀者に對して親切であるが、それだけ全卷に溢れた熱が認められ得ないために、青年を大いに鼓舞するといふ點に於ては少し物足らぬ感がある。(大人、經濟)
- 1522 **皮と肉** 下村宏著



1冊 四六判 442頁 2.30 丸の内昭和ビル 日本評論社

「皮と肉」即ち「皮肉」の意である。主として現代の時弊を皮肉つたもの。その取材各方面に亘り、行文輕妙洒落、時勢を皮肉つて以て自ら快としてゐるのではなく、皮肉の中に憂國の至情が流露して居る。(大人、隨筆)

1523 論・想・談 高 島 素 之 著

1冊 四六判 306頁 1.50 牛込區矢來町三 人文會

論想談三部に分つてある。卷頭の挿繪に堤といふ人が「餘り切れ過ぎて劍に酔つたところがある。論據に於て多少赤鞘の大だんびら無しとせずか」と書いてあるやうに筆者の論は全く切れ味のよい大だんびらである。と同時にまた解剖刀の尖端のやうに精緻な鋭い閃きも見える。かくの如き鋭い着眼の仕方については我々教育者の學ぶべき所が甚だ多いと思ふ。一般にも素より好讀物。(大人、隨筆)

1524 日本女流文學史 石 橋 健 夫 著

1冊 四六判 233頁 1.50 京橋區南傳馬町二 目黒書店

名の如く女性を中心として日本文學史の大觀を述べたものである。各時代に分けて其の文學の特質と前後の關係とを説き、女流の主なる文作家とその作品とを平易に面白く概説して居る。(中等上級以上、文學)

1525 支那行脚記 後 藤 朝 太 郎 著

1冊 四六判 474頁 2.90 日本橋區元大工町十二 萬里閣

支那研究の第一人者である著者の支那紀行文で、支那人の社會生活、家庭生活などに現はれた現代文化の推移が、極めて興深く叙述されてゐる。中にも長江流域から南支那方面へかけての最近の情勢が特に面白く描き出されてゐる。支那の國は全く世界の謎で、これは見る程分らなくなるのが特色とも云ふべく、著者のやうな眞面目な徹底した研究者の言は支那研究者にとつて燈臺である。(大人、紀行)

1526 石田三成を中心に 尾 池 義 雄 著

1冊 四六判 568頁 2.50 麴町區内山下町 春秋社

近世日本のスタートである關ヶ原の役の論評である。大體に於て石田三成を中心として描き、その孤忠と心事とに同情し、一面家康の奸

譎を排撃し、小早川等の順應ぶりを責め、加藤、福島、等武將派の愚直をわらひ、その明快な論旨は實に冴へたもので、近來の良著たるを失はない。本書は大衆の讀物として書かれたものではあるが、要所々々には正確な典據を挙げ、又その論評に至つては(著者も斷つてゐるが)必ずしも俗耳に入らない事があるかも知れない。しかしそれは、本書の價値を高めこそすれ決しておとすものではない。むしろ吾人はその讀者にこびない著者の心事を喜ぶものである。(大人、史論)

1527 隨筆 禪 鈴木大拙著

1冊 四六判 506頁 2.50 本郷區本郷三の四 大雄閣

貧乏人の生活、評論、禪論、宗教雜篇の四篇からなる小論文集である。宗教道德に關したのものも多いが、又現代の社會思想に關したことも少くない。新しいことも古いこともとり入れてゐて思想がきはめて豊富で、しかも識見が頗る高い。文章も單なる議論ではなくて深い體驗からほとばしるものが多い、一つの立派な文學である。至醇なるものとはいへまへが、豊かな深い思想と感情とをもつた立派な隨筆であり、論文集である。(大人、隨筆)

1528 からたちの實 藤原義江著

1冊 四六判 246頁 1.80 芝區愛宕下町四の六 改造社

聲樂家たる著者の生ひ立ちと演奏旅行記とを中心とした隨筆であるが、實に情趣豊かな上品な、誠に面白い内容を以て満たされてゐる。初の「金さん」で先づ小説以上の感銘を與へられるが、筆者の「松江」に心からの憧憬を持つ心持は思はず讀者をもその綿々たる情の中に包んで仕舞ふ。(中等上級、隨筆)

1529 歴史研究書五・六年用 2冊 仲原義忠著

1530 地理研究書五年用 1冊 渡邊照一著

各 菊判約 200頁 0.50 0.60 牛込區市谷山伏町十四 イデア書院  
地理歴史の自習用として編んだもので各課の要點をあげ學習の方法を教へ参考資料を加へたところ、大それた本であるが今少し趣味あらしむるやうな書き方にして欲しかつた。(初等上級、歴史、地理)

1531 形態説による新教育論 野口彰著



1 冊 四六判 222 頁 2.00 麴町區飯田町六の十二 昭和出版社

著者は福島縣師範學校附屬主事で篤學熱誠少壯有爲の教育者である題名の形態教育とは現今、精神現象の研究に多く用ひられてゐる所謂「形態」に基くもの、大體に於て本書の趣旨は精神科學派の文化教育學說と同一方向への進路に在ると思はれる。而して本書の特色と見るべきは少くとも現代教育思潮をよく正しく理解し、そしてどこまでも實際的態度に立脚し、自己現在の教育的體驗を基礎として、記述してゐる點である。又全篇を通じて横溢してゐる著者の眞摯にして篤實かつ熱烈な態度には何人もひきつけられるであらう。とにかくこの種の書として讀者に或程度の光と命とを與へるものである。(大人、教育)

1532 幼稚園はなし 長尾豊著

1 冊 四六判 258 頁 1.80 麴町區下六ノ四八 厚生閣

お話をあつめること四十題、その中には著者の創作もまじつてゐる單にお話の本として繙讀するにも適して居るが之をよみ得る少年には少し程度が低い。だからやはり童話教育者の手引たることにこの書の使命はあるだらう。序説に於けるお話の分類、分解、組合、改作に關する説明、お話の間に挿んだ注意、最後の指示などとりどりに好參考である。(大人、教育)

第 92 回 (昭和三年三月六日)

1533 電氣の常識 實來勇四郎著

1 冊 四六判 152 頁 1.00 日本橋區本石町三 博文館

電氣の恩恵、本質、家庭の電化等につき通俗的に簡単に説明したもので電氣常識を養ふ事の出来る平易な本である。(初等、科學)

1534 日本童話選集 童話作家協會編

1 冊 菊判 550 頁 3.70 日本橋區通三 丸善株式會社

童話作家協會の第二次の選集、一九一七年版である。童話三十九篇を集め、附録に明治大正の童話界及び新會員著作年表を加へて居る。純粹な童話といふ一新藝術境を築き上げようとする同人の眞面目な課題も渾然として認められる。特にこの度は新會員の著作を入れ、また「休み日の算用數學」(相馬泰三)の如く全く新しい試みのものも含ま

れて居る。讀んで文學的價値を認めらるゝもの、口演して兒童に喜ばるゝもの等種々あるが、何れにしても讀物として特選さるべきものであらう。但し内容については一考を要するものが尙認められる。兒童の美しい生活に一層びつたりするやう努力してほしい。最後の明治大正の童話界は貴重な童話史の研究である。(初等、童話)

1535 ヨセフ物語 野邊地天馬著

1 冊 四六判 160 頁 1.00 神田區錦町 日英堂聖書物語刊行會

舊約聖書「創世記」の後半に依り、ヨセフの事を述べたものである。聖書の事を少しでも兒童に面白く讀ませようとするには、よい書物であつて、兄弟愛の必要を説いてゐる。(初等、物語)

1536 創世紀物語 野邊地天馬著

1 冊 四六判 150 頁 1.00 日英堂聖書物語刊行會

舊約聖書「創世記」の前半に依り、天地創造からアブラハムの傳記までの事を收めてゐる。話が平易に面白く書かれてゐるから、子供に聖書の知識を與へようとするには適當な讀物である。(初等、物語)

1537 少年發明家物語 久米元一著

1 冊 四六判 227 頁 1.20 東京澁の川町田端三五 金の星社

少年偉人英雄叢書の一にして少年に讀ましめん爲の發明家物語である。それらの發明家の幼時よりの傳記を面白く書き、且訓話的に所々批判して、少年等の進むべき道に迷はぬ様注意した點はよい。(初等、物語)

1538 お天氣と雲の話 貴志敏雄著

1 冊 四六判 238 頁 1.50 牛込區山伏町十四 イデア書院

「天氣と雲」を中心核として自然界の現象を説明したもの。かなりくだけた説明ぶりで平易に氣象に關する事柄を説いてゐる。(初等、理科)

1539 趣味の小學理科 尋常四學年 網野武男著

1 冊 四六判 412 頁 2.50 牛込區赤城元町 文教書院

尋常四學年の理科書の題材について趣味深く書いたもの。兒童課外讀物として適當だが、理科教授の參考書としてもすゝめてよいと思ふ。(初等、理科)



- 1540 **日本児童文庫 48 地中の寶** 渡邊萬次郎著  
 1冊 四六判 237頁 非賣品 小石川區表町一〇九 アルス  
 地質鑛物についての知識を子供に解し易く叙述したもの。ほとんど一頁おき位に挿繪を入れ、良雄といふ一少年の家庭を中心として其の少年の實見記體に組立て、この學術的な説明を極めて趣味深く書いてゐる。(初等上級以上、理科)
- 1541 **支那小史 黃河の水** 鳥山喜一著  
 1冊 四六判 276頁 2.50 神田區北甲賀町二三 刀江書院  
 支那の文化史的發展のあとを、平易な用語と叙述を以て書いたもの。多くの挿繪と懇切な而も簡にして要を得た解説とは、よく支那の古代から革命後の混沌たる現在の支那迄を最も正しく理解させて呉れる、誠によい本である。少年の讀物としては勿論、一般成人の讀物としても特に推薦すべき價值がある。(中等以上、歴史)
- 1542 **ムツソリニ傳** 澤田謙著  
 1冊 四六判 439頁 1.20 本郷區駒込坂下町 講談社  
 序文により著者の「ムツソリニ觀」を大體知ることが出来る。即ちムツソリニの生命とするファツシズムに對して或點には熱烈なる共鳴を覺ゆると共に、或點には極端なる反意を表するを告白し、たゞその強烈なる性格に對しては、大に憧憬の情を覺ゆるも、我々日東帝國の憲政治下に生れた者としては、彼の態度の變態的霸道なることは否み難き事實であると喝破してゐる。この見地に立つて所謂世の盲目的にムツソリニを尊崇するの餘り、時に彼の批難すべき行動をまで公然と賞揚するなど言ふことなく、しかも讀む者の血を沸かさねば止まずと云ふ情熱味を以て、現時世界注目の焦點たる大傑物の波瀾重疊起伏極りなき生涯を叙してゐる。(中等上級以上、傳記)
- 1543 **コドモの英語** 西脇乃夫彦著  
 1冊 菊判 152頁 1.00 大阪市南區安堂寺橋通三の五三 積善館  
 新しい英語教授法が唱へられるやうになつてからもう随分久しいけれども、その教授法に適當な教科書があまり出来てゐない。本書は實にその先がけの一つであつて、收められた英語は精練されて居り、それに

- 卷末には教授法や發音學の一般智識や有名な英語の唱歌やローマ字に關することなどをも教へてあり、家庭でも學校でも教科書として使用するに適當である。(中等、語學)
- 1544 **うるさき人々** 杉村楚人冠著  
 1冊 四六判 450頁 2.00 東京、大阪兩朝日新聞社  
 昨年八月より十二月まで約五ヶ月間、東京朝日新聞に連載せられた創作を單行本としたものである。この小説の朝日に現るゝや大分風變りな所があつた爲か實に毀譽褒貶交々であつた。とにかく何人も一遍は讀んでよいと思はれる作品であるが、殊に教育界の人々に、この小説の主要人物たる大休和尚といふ禪僧の實に自由無礙の境涯を味つて貰ひ度いと思ふ。(大人、小説)
- 1545 **火** 納富重雄著  
 1冊 四六判 380頁 1.80 麴町區大手町一の一 三省堂  
 火と文化、火災と豫防、人生と燃料、火に對する迷信等の多方面から人生と火との關係を説いたもの。歴史的に各國民の生活を火と云ふ立場から能ふ限り古代に溯つて説明してある。和歌を引用し、俳句をとり入れ、その他の文献を持ち出して面白く手際よく説いた點、通俗的の理科書たるに適する。(大人、理科)
- 1546 **寡婦マルタ** エリザ・オルゼシユコ著、清見陸郎譯  
 1冊 四六判 224頁 1.00 芝區愛宕下町四の六 改造社  
 ポーランド近代の閨秀作家エリザ・オルゼシユコの原著「マルタ」の譯である。婦人問題、社會問題を取扱つた小説で、ポーランドの首府ヴルシヤワの若くて夫を失つた寡婦マルタが自分とその幼女ヤンカの生命をつなぐためにいろいろ職をもとめるが、今までの婦人としての高き教養も職業婦人として立つ爲の役には立たず、又たとひ教養があつても婦人の職業そのものが婦人に解放されて居らぬと云ふことから職を得る事が出来ず、しだいに貧窮に迫られてドンゾコに陥りつひに窮死すると云ふ筋。原作者は、熱心な婦人解放論者であり、そしてまたポーランドに於ける一流の作家である上に、譯文流麗でよく出来てゐるから、文に非常な魅力があり、讀み始めると最後まで讀ませずにはおかない。今から五十年ばかり前に出来たもので、且遠い異國



の文學ではあるが、讀んで啓發されるところ、動かされ、考へさせられるところが多い。一般人、わけて教育家や婦人の讀物として推薦したい。(大人、小説)

- 1547 千年檜の下にて 中里介山著  
 1冊 四六判 308頁 1.50 神田區錦町一の十二 自彊館  
 書名は滿三年間、居を占めたといふ武州高雄山にそそり立つ千年檜に因んだもの。上篇二十三題、中篇十七題、下篇二題、例の博覽強記が縦横無碍の筆端に躍動してゐる。(大人、隨筆)

- 1548 四季の料理 中央放送局編  
 1冊 四六判 116頁 0.80 淺草區瓦町十 東京榎本書房  
 東京中央放送局で毎朝放送した料理法の筆記である。十二ヶ月に分けて總計三百三十五種の御馳走の材料と料理法とが簡明に記され、附録として一流の料理家の特殊の料理等十數篇が添へてある。お臺所の主婦の座右に置いて調法な書物。(大人、家庭)

- 1549 鴉 關口次郎著  
 1冊 四六判 301頁 1.80 東京市芝區二本榎四町二 創元社  
 捉へた點は讀んでかなり面白い。慾をいへば、もつと深く鋭く強くありたいと思ふ。(大人、小説)

- 1550 先生とお父さんお母さん 北崎永榮著  
 1冊 四六判 359頁 2.00 麴町區下六番町四八 厚生閣  
 小學生程度の子供をもつ親の教育上心得べき事柄をいろいろな方面から述べたものである。著者は實際教育家で熱心に我が教へ子を教へてゐる、そのうちに、自然に教へ子を思ふ心が發して家庭への注文となり、父母への希望となる。その注文の文、希望の言葉が本書となつたのである。材料が豊かであり、その述べるところ亦適切。(大人、教育)

- 1551 中等現代作法 甫守謹吾著  
 1冊 菊判 192頁 0.68 神田區北神保町十 大光館  
 文部省所定の作法教授要項を擧げて、之に平易な説明を加へたものである。(大人、教育)

- 1552 夏目さんの人及び思想 島爲男著

- 1冊 四六判 278頁 2.00 神田區表神保町七 大同館  
 著者は若き哲學者で殊に教育哲學の研究に眞剣な努力をなしたる人。本書はその専門外に屬し、著者の道草として出来上つたものさうだが、なかなか鋭い閃きを見せて居る。漱石逝いて十年、これから漸くその研究も深められて行くであらうが、本書は未だ完成せられたものではないにしても、少くとも漱石研究の有力なる一文献たるを失はぬ。(大人、思想)

- 1553 昭和維新 北吟吉著  
 1冊 四六判 308頁 1.20 小石川區若荷谷町 世界文庫刊行會  
 大正時代の回顧より説き起して「明治維新と昭和維新」とを對比し、次に「雄邦日本の使命」を明かにして、以下外交、内政、社會制度、教育等の方面に亘り、革新の必要と其の對策とを述べたるものである。所論は必ずしも新しくはないが、筆力雄健にして犀利、讀者をして覺えず卓を打つて快哉を叫ばしむるものがある。青年などに讀ませる書物として好適のものであらう。(中等以上、評論)

- 1554 デンマルク 平林廣人著  
 1冊 四六判 368頁 2.50 本郷區彌生町三 文化書房  
 デンマルク農村の研究者たる著者が、彼地に遊び實地その生活にひたつて具さに研究した報告の蒐集で、デンマルクの教育を中心に澤山の材料を平易懇切に述べたものである。我が國に農村荒廢が叫ばれる今日、必讀の良書と云つてよからう。本書の生れたるは偶然にあらず。(大人、社會)

- 1555 健兒之社 上野篤著  
 1冊 四六判 282頁 2.50 牛込區市谷甲良町三九 中文館  
 九州の南隅に僻在する薩藩が數百年に亘つて隱然天下に重きを爲してゐた所以は、主として其の特殊なる健兒教育に淵源するとは何人も認むる所であるが、其の組織、内容に關しては存外に廣く知られてゐない。著者は健兒の社中に生れ、其の中に教育せられて人となり、教育者として世に立ち、後鹿兒島市長たりし人、健兒之社の研究家として此の上もない適任者と言はねばならぬ。一般教育に志あるものわけても近時の青年訓練等の研究に志ある者に取り坐右必備の好著。(大人、



教育)

- 1556 **驚異と神祕の生物界** 松村松年著  
1冊 四六判428頁 2.30 本郷區駒込坂下町 大日本雄辯會  
生物界の生活現象を赤裸々に書いたもの、をさむる所二十八篇。猫とクローバと題して猫が減ぶとクローバが繁殖出来ないといふ現象に筆を起し、之に類する幾多の實例を擧げて、生物界の聯關生活を説き、自然界の均衡が破れた時、人類の受ける害の如何に甚だしきかに及び、動物の母性愛の篇では、下等動物から高等動物に至る數多の實例について子孫存續のために親たるものゝ苦戰奮闘の有様を述べ、親は子に對する奉仕の生活が生物界の原則であることを暗示してゐる等、人間性を考へる場合の背景となるべき生物界の現象を述べてある。文章の平易と挿畫の豊富とは本書をして一層價値あらしめる。(大人、現科)
- 1557 **ベスタロツチにふさはしき妻 アンナ** ザイファルト原著、市村秀譯補  
1冊 四六判180頁 1.00 牛込區山伏町十四 イデア書院  
ベスタロツチの傳記は數々あるが、夫人の傳記は極めて少いやうである。勿論邦文ではこれが唯一のものであらう。ベスタロツチのあれだけの事業の蔭にはどれほどこの夫人の力が働いてゐたであらうか。これを思ふと本書の如きは始から涙なしには讀まれぬ氣持がする。本書は二百頁に足らぬ簡單なものであるが、ベスタロツチを研究するものには勿論一讀の要があり、一般に家庭的の讀物としても推薦してよからう。(大人、傳記)  
第 93 回 (昭和三年四月十六日)
- 1558 **エノカケル・カタカナ・ドウワドクホン** 吉野祐廣著  
1冊 菊判180頁 0.60 日本橋區龜島町一の四二 光文社  
「ヤツチャン」以下三十六篇を収む。片假名をならひ覺えた幼年生がよんで、文を繪にするやうにと、わざとさし繪をぬきにしてある。中の話はやさしくて幼年生は勿論、幼稚園時代のこどもにも話してきかせてよいものである。(初等初級、童話)
- 1559 **古事記物語** 田中耕耘著  
1冊 四六判311頁 1.50 牛込區山伏町十四 イデア書院

- これは古事記全巻を通じて、さほどに面白くもなく又大切でもない所は省いて、少年少女の讀物として相應しい様に物語體に平易に書いたものである。これと全く同種の物として鈴木三重吉氏の古事記物語がある。兩書を比較して見るに、各々に特長があるが、本著者は實際教育に携はつてゐる人であるだけに教育的にすぐれて居ると思はれる。(初等上級以上、物語)
- 1560 **小學生全集77 教育映畫物語** 仲木貞一著  
1冊 菊判253頁 非賣品 日本橋區馬喰町二の一 興文社  
「二つの玉」以下二十七篇を集めてある。兒童にみせる映畫劇としてよいと思ふ。(初等、戯曲)
- 1561 **小學生全集51 海軍と海戦の話** 藤井謙介著  
1冊 菊判243頁 非賣品 興文社  
海軍のこと、海戦のことについてくはしく、そして讀みながらあきさせないやうに書いてある。(初等上級、軍事)
- 1562 **小學生全集27 日本世界偉人畫傳** 菊池寛著  
1冊 菊判254頁 非賣品 興文社  
古今東西偉人百二十四名の興味深い逸話を集めたものである。畫傳とあるだけに挿繪も豊富で兒童の讀物としては好適のものである。但し本全集が印刷、挿畫、その他の點に就いて質の漸次低下して行く觀あるのは惜しい。少くとも既刊の兒童漫畫集、イソップ童話集程度の良書の刊行に倣つて貰ひたい。(初等初級、傳記)
- 1563 **西洋文學史** 菊地武一著  
1冊 四六判512頁 2.50 牛込區山伏町十四 イデア書院  
ギリシャのお話、ローマのお話、中世ヨーロッパの文學、フランスの文學、ドイツの文學、イギリスの文學、アメリカの文學、近代西洋の文學の八章から成る。西洋文學史を極く通俗平易にしたもので文章はすこぶる面白い。趣味を主として感興をひくやうにいろいろ努力したあとがよく見えるが、又その間に智的に啓發されるところも多い。中學初年以上の讀物、文學や歴史の參考書としてもよく、又一般大人の趣味常識の爲にも讀んでよい本である。(中等、文學)



- 1564 **フレツプトリツプ** 北原白秋著  
 1冊 四六判 450頁 2.50 小石川区表町一〇九 アルス  
 著者の樺太紀行。一流の快筆、朔北の野も山も海も人も木も皆詩化して居る。好讀物。(大人、紀行)
- 1565 **赦し得ぬ悩み** 沖野岩三郎著  
 1冊 四六判 575頁 2.50 京橋區銀座尾張町 福永書店  
 日露戦争前後から日韓合併前後まで動搖絶間ない朝鮮を背景にして描き出された一女性のいたましい愛慾闘争記である。一見虚弱な而も教養浅い女性に過ぎない主人公嘉代子は稀に見る鞏固な意志の持主である。頭上に重く落ちかゝつて來た運命への雄々しい對抗、彼女は血みどろになつて戦ひ、遂に最後の勝利を得るのである。而も彼女の強さは、ともすれば浮調子になり勝な現代女性に対する好反省資料たるを得るとまでに考へられる。作者の澁滞なき筆致が如何に快い讀書慾をそゝることか。その上主人公の健氣な奮闘に對する同情は讀者をして卷を措くの暇をあらしめないであらう。(大人、小説)
- 1566 **全人格的生活と修身教授の諸相** 河野通頼著  
 1冊 菊判 264頁 2.50 麴町區下六番町四八 厚生閣  
 全人格的生活、道德的思索による修身教授、創作による修身教授、體驗の道德と其の教育、勞働創造人の道德と其の教育、生活内省と其の教育の六章からなる。善人的生活、個人主義的生活を通り越して最後に到達すべきものは全人格的生活であると悟り、こゝに修身教授の目標がありとなし、この見地に立つて修身教授の種々相をながめて、その當然あるべき相と思ふものを叙述したものである。記述は簡約であるが、内容は深いので難解のところが多い。一般大人殊に教育家、宗教家等にとつて好讀物と思ふ。(大人、教育)
- 1567 **義務と制裁なき道德** 西宮藤朝譯  
 1冊 菊判 490頁 3.20 麴町區下六番町 平凡社  
 形而上學的思惟は獨立な組織的な世界觀に出發し、實證主義によるも批判主義によるもその全存在を明かになし得ない部分を取扱ふものである。佛のジャン・マリー・ギョーは生命哲學の代表者として知られ、生命の創造的性質を證明し、生命及び生きんとする意志を以て究

竟の概念となし、一種清新な道德論を主張した人。本書は緒論に於て從來の道德説を批判し、第一編科學的見地から見た道德的動力に於て本書の根本が闡明されて居る。特に「生命の緊張は行爲の動力である」の章はその骨子であると云つてよい。論旨明快引例適切、斯學研究者に是非熟讀をすゝめたい。(大人、哲學)

第 94 回 (昭和三年五月八日)

- 1568 **少年大飛行家物語** 三井信衛著  
 1冊 四六判 255頁 1.20 東京瀧の川町田端三五一 金の星社  
 北極横斷に成功したアムンゼン、大西洋横斷に成功したリンドバーク、飛行船を發明したツェツペリンの三氏の夫々成功に至る苦心慘澹の有様を書いたもの。飛行家に對する同情と共に又飛行の興味を味ひ得られ、且忍耐の精神が如何に事を成功せしめるかといふ事を知らしめるよい修養書である。(初等上級以上中等初級、物語)
- 1569 **親孝行な少年少女の話** 大戸喜一郎著  
 1冊 四六判 253頁 1.20 金の星社  
 少年夕刊賣の外十八篇を内容としてゐる。その中四五篇は徳川時代のもの、若しくは外國のものであるが、他は皆近頃實際にあつた美談を新聞などより集めて物語風に優しく書いたもので、この點に本書の長所が認められる。ただ時には少年少女をして、暗い感傷的な心持に導きはしないかと懸念せられる所がないでもない。(初等上級、童話)
- 1570 **塙保己一のお話** 橋外男著  
 1冊 菊判 60頁 0.20 東京西大宇巢鴨二五七〇 塙會  
 著者が塙會の依頼によつて纏めたもの「柴折りくべて爐邊に語る小父様の説話」としてどんな家庭でも一冊づつ求めることをすゝめたい良書。(初等、傳記)
- 1571 **小學生全集2 幼年童話集** 菊池寛著  
 1冊 菊判 256頁 非賣品 日本橋區馬喰町二の一 興文社  
 幼少年に喜ばれさうな面白くて厭味のないお話ばかり集めてある。(初等初級、童話)



- 1572 **小學生全集68 兒童工業物語** 原田三夫著  
 1冊 菊判215頁 非賣品 日本橋區馬喰町二の一 興文社  
 一般工業に就いての常識を與へる兒童向きの書物は、從來餘り刊行されてゐなかつたが、本書によつてその不足の一端は補はれることと思ふ。良書である。(初等、工業)
- 1573 **三百六十五日母子讀本** 尋常二年 家庭教材研究會著  
 1冊 四六判466頁 1.20 日本橋區本石町 博文館  
 自然と人事とにわたる三百六十五題目を擇んで、之を月別に配當し、一題毎に二頁を充て、その一頁は子供の讀物、其の裏に當る一頁は母親の參考材料を記した物である。一々に批評すると其の題目や内容が、學年兒童の程度、趣味に合はぬやうなものがあり、間々誤謬と思はれる點もないではないが、在來の兒童讀物に比して一種の特色を有つてゐる點を認める。(大人、初等、讀物)
- 1574 **簡易動物實驗手引** 鈴木豊著  
 1冊 四六判94頁 0.25 神田區錦町三の十二 教育第一協會  
 ヒキガヘル、ハマグリ等について其の實驗觀察の手引を書いたもの。中等學校で動物學を始めて學ぶ生徒にはよい參考書である。(中等、理科)
- 1575 **受験參考學習指導 新しい日本地理** 橋本辰彦著  
 1冊 四六判457頁 1.60 四谷區新宿町一ノ八八 三友社  
 受験參考且學習指導を目的として編したもので、材料の選擇、配列叙述の方法等深く注意してゐるし、且各章毎に模擬試験問題及び實際に出た問題を掲げ、之が解答をそへてある。高等學校、其の他各種學校の入學準備、又は教員檢定試験の準備などには便利な書である。(中等、地理)
- 1576 **雪國の春** 柳田國男著  
 1冊 四六判380頁 2.50 麴町區上六番町五 岡書院  
 雪國の春以下二十數篇、何れも奥羽地方に關係した紀行隨筆を集めてゐる。多くは朝日新聞その他に發表されたものであるが、かうして美しい本になつて見ると新聞や雑誌で見たのとは又異つた一種の情味

- が湧いて來る。本來著者の筆は極めて輕妙で情趣の深いものであるが、本書はその體驗から出てゐるため、文章に別種の力が加はつて一層氣持がよい。南國に生れ、暖かい明るい緑の中に育つて、奥羽といへば只暗い重苦しい感じを漠然と持つてゐるだけの者でも、この書によつて北國に對する一種の神秘的な憧れを有つてあらう。兎に角近頃稀に見る好著として推薦する。(大人、紀行)
- 1577 **禁酒叢話** 長尾半平著  
 1冊 四六判313頁 1.00 丸の内昭和ビル 日本評論社  
 禁酒生活四十餘年の間に於ける感想録や實驗談、それに東西に於ける禁酒に關した有益にして且面白き材料を集録したもの。文章は通俗平易にして流暢、内容も亦充實してゐて且面白い。自己修養の上からも社會指導の上からも一讀をすゝめたい良書である。(大人、修養)
- 1578 **藁屋と花** 中西悟堂著  
 1冊 四六判102頁 1.00 四谷區三光町一 詩集社  
 自然詩人たる著者が一九二六年七月に武州烏山に移り住んでから約一年間、氣の向くまゝに書き貯へた隨筆、とりどりに面白いが、殊にその食事生活に關する實際談に啓發さるゝ處多い。(大人、隨筆)
- 1579 **候蟲時鳥** 水守龜之助著  
 1冊 四六判230頁 1.00 牛込區矢來町六六 人文會  
 著者の隨感、隨想集。季節の隨筆、折々の感想、文藝評論、人生スケッチの四編より成り、すべて諸雑誌に既出のものばかりである。(大人、隨筆)
- 1580 **兒童劇の創作と演出** 小寺融吉著  
 1冊 四六判253頁 1.60 神田區錦町一の一 弘文社  
 劇の創作演出に豊富なる知識と經驗とを有する著者が、兒童藝術の新しい一分野として未だ發達の過渡期にある兒童劇に就いて、就中其の實際方面に就いて詳論したものが本書である。創作、演出の二篇から成り、前者は題材、劇の組織、言葉、舞臺、技巧の四編、後者は劇、特に兒童劇の演出とは何か、單純なる劇の演出、兒童劇の舞臺美術、演技實演の五編から成つてゐる。良書。(大人、戯曲)
- 1581 **皇室と國民** 徳富蘇峰著



1 冊 四六判 224 頁 0.50 京橋區日吉町 民友社

明治天皇と大正天皇との崩御の前後に於て著者の國民新聞紙上に掲載した材料を主とし、その他天皇に關係ある小著數篇を加へて一卷としたものである。天皇の聖徳を偲び奉るに好い讀物であるし、又二天皇崩御の當時に記録された史料としても簡にして要を得た書物と見てよからう。(大人、史料)

1582 サラリーマン物語 前田一著

1 冊 四六判 194 頁 1.20 牛込區天神町 東洋經濟出版社

軽い讀物である。調子も筆致も材料も皆軽い。就職難、出世難、生活難のサラリーマン世相を面白く描寫したものである。學校さへ出れば立派に月給取りになつて暮していけると考へてゐる父兄の反省材料にもなるだらう。(大人、社會)

1583 太平洋時代來る 守屋榮夫著

1 冊 四六判 307 頁 2.00 丸の内昭和ビル 日本評論社

世界活動の中心がいつしか大西洋から太平洋に移つた。我が國民がこの世界的推移に對してどれほど自覺し、又どれほどの準備と覺悟とを有して居るであらうか、著者はこの點について深く慨する所ありて此の一篇を公にしたのである。世界の中心異動の經路を簡単に叙述して「華盛頓會議」の題下に支那問題、シベリア問題、ヤツブ島問題を評論し、次に「太平洋問題」として人口問題、移民問題、支那問題、ロシア問題、海外市場問題、民族問題、軍備問題等を説き、結論として「如何に備ふべきか」の題下に、國民の實力を養成し、武力の濫用を戒め、昭和の精神に基いて富國強兵以上に「道の國」を完成すべく、これぞ我が國の其の使命にして、又最も安全に最も高尚なる國是なりと結んである。筆力雄健にして論旨も明快であり、殊に前二篇に於て米國が己の力を恃んで我が國を翻弄するあたりの叙述は赤い血に漲る青年をして覺えず腕を握らしむるであらう。(大人、政治)

1584 お話のそびと小さい劇 長尾豊著

1 冊 四六判 243 頁 1.60 麹町區下六番町四八 厚生閣

戯曲遊戯の一面「からだでの話方」の手ほどきとして二匹の山羊、兎と龜等を例としてすぐにも應用出来る様、周密適切な注意がしてあ

る。後半は三つの材料になる小さい劇「赤づきんさん」以下十八篇を収む。幼稚園、小學一二年を取扱ふ者に好参考と思ふ。(初等初級、童話劇)

1585 最新 教育教授の理論及實際 下村千代松著

1 冊 菊判 424 頁 3.50 麹町區飯田町六の十二 昭和出版社

一般理論篇と、各科教授篇の二篇から成る。理論を述べて空疎でなく、實際を語つて淺薄でもない。廣く各般に亘つて新思想をとり入れてゐるが、その間によく統一づけられて居る。堅實な本で、教育家の良参考書。(教育書)

第 95 回 (昭和三年六月十二日)

1586 子供に作れる器械と模型 山田義郎著

1 冊 四六判 267 頁 1.50 神田區錦町一の十九 誠文堂

一體子供程いろいろなものを作りたがる者はない。器械や模型科學玩具を作つたりこはしたりして考察する。それ自身が楽しみであるものである。しかるに従來これ等の相談相手として平易に説いた書物の少いのを嘆じてゐたが、この書は子供によくわかり、しかも用意周到。發明家の少年時代を挿入して、創作心を培ふなどもよい考と思ふ。(初等上級以上中等初級、手工)

1587 少年天才物語 立石美和著

1 冊 四六判 279 頁 1.80 東京田端三五一 金の星社

いろいろの方面の人について子供の頃の逸話をかいた本である。少年讀物として適當なものである。(初等、物語)

1588 こども論理學 プロメトイアの火 中島義一著

1 冊 四六判 212 頁 1.50 牛込區赤城元町三四 文教書院

こどもに思考の規範を授けんとしたもの——授けると言つては著者は不服であらうが——「眞理を見つけ出すにはどんな方法によつたら良からう」以下十七章を収む。由二と言ふ小學生が先生、父兄、先輩等の補導により、彼の日常生活に於ける事象の正しい考へ方を體得して、自ら論理學を建設して行く様子を、由二の手記といふ體に書いてあるが、小學生が讀解するには相當指導が必要であらう。しかし何時



教へるともない正しい思考の形式を、こんな問答によつて體得させることはよいことと思ふ。(初等、論理)

- 1589 日本兒童文庫 1 日本歴史物語 喜田貞吉著  
1冊 四六判 251頁 非賣品 小石川區表町一〇九 アルス  
我が國の古代史を民族史的の立場から兒童に適する様に記述したるもの。かうした立場から國史を觀せしむることは稍々難解であるかも知れないが、記述が平易であり、教科書との連繋も充分考慮されてあるから推薦してよからう。(初等、歴史)

- 1590 日本兒童文庫 40 世界立志物語 沖野岩三郎著  
1冊 四六判 248頁 非賣品 アルス  
世界に於ける立志傳中の人物を、殆ど網羅したといつてよい程多くの人の逸話をあげ、なかなかよい話が多數盛られてある。(初等上級以上、物語)

- 1591 日本兒童文庫 33 竹取物語・今昔物語・謡曲物語 和田萬吉著  
1冊 四六判 242頁 非賣品 アルス  
竹取物語及び今昔物語と謡曲の中から兒童に解し易い様な數篇を選擇し、わかり易い様に叙述した面白いよい本である。この種の本としては上の部類だらう。(初等上級、物語)

- 1592 日本兒童文庫 39 日本立志物語 河井醉茗著  
1冊 四六判 244頁 非賣品 アルス  
我が國古來の偉人中特に文化的方面に貢獻のあつた十八人につき、其の立志物語を叙述したもの。唯内容と叙述とは稍々難解な節が處々にあるけれども深みのあるよい本である。(初等中級以上、物語)

- 1593 日本兒童文庫 57 世界の不思議 一氏義良著  
1冊 四六判 236頁 非賣品 アルス  
内外に於ける地理、歴史、理科、美術、人情風俗等あらゆる事象に關する不思議と思はれるもの、面白いと思はれるものをあげて説明したもの。多數の面白い挿繪と共に著者の廣い見聞の上になつた平明な記述が、兒童をして興味多く讀ましめるであらう。(初等上級、雜)

- 1594 日本兒童文庫 22 兒童劇集下 久保田萬太郎、長田秀雄、秋田雨雀共著

- 1冊 四六判 250頁 非賣品 小石川區表町一〇九 アルス  
三氏の兒童劇集である。それぞれ趣の異つたところはあるにしても、家庭、學校に於て簡単に實演の出来るものといふより寧ろ技巧のかつた大きなものが多い。従つて一般的には實演的といふより讀物としてよいものであらう。いづれも、なごやかなよいものばかりである。(初等上級、戯曲)

- 1595 小學生全集72 算術の話 國元東九郎著  
1冊 菊判 249頁 非賣品 日本橋區馬喰町二の一 興文社  
小學校に於ける算術の重要な事項を、巧みに面白く説明してある。兒童好みの讀物たる事を信ず。學習の仕方等に就いての話は、父兄の參考にもなる事が多い。(初等、算術)

- 1596 小學生全集47 日本武勇談 菊池寛著  
1冊 菊判 255頁 非賣品 興文社  
古今に亘る我が國の武勇談二十三篇を收む。是によつて日本武士道精神を覚えしめようとする著者の考も、よく紙面に現はれてゐる。選定した人物もよく文も亦讀み易い。(初等上級、物語)

- 1597 あゝ玉杯に花うけて 佐藤紅緑著  
1冊 四六判 333頁 1.50 本郷區駒込坂下町 大日本雄辯會  
豆腐賣りの少年千三が小さい時父を亡ひ、母と二人で叔父をたよりに生活し、黙々塾なる夜學に通つて苦學力行する筋を小説にしたもの。配するに學友たる中學生柳光一を以てし、中學校と黙々塾との波瀾葛藤に富める生活を活寫して、なかなか興味津々たるを覺える。筋もよく、人物描寫も巧みである。青年讀物としてはまことに恰好のものであらう。(中等、小説)

- 1598 模範代數講義上下 佐藤良一郎 外三名著  
2冊 四六判上 526頁 下 661頁 上 1.50 下 1.80  
神田區表神保町二 東洋圖書株式合資會社  
初等代數學獨習者の教師及び中等學校生徒の伴侶として、著者新時代の中等數學教育の理想を経とし、多年實施の經驗を緯として編述したもので、ありふれた學習書や準備書とその選を異にしてゐる。即ち材料は中等教育といふ立場から形式的のもの技巧を要するものを避け



て基本的實際的なるものを選び、その配列は論理を破壊せざる程度に於て心理的考慮をなし、學習者をして興味を以て練習出来る様細心の注意を拂つてゐる。この意味に於て數學教師の好參考書である。(中等、數學)

1599 數學史物語 清水英一著

1冊 四六判 332頁 2.50 神田區表神保町 東洋圖書株式合資會社

中學下級生を對象として算術及び初等代數、幾何發見進歩の歴史を、一は教師の参考に、一は學生の科外讀物として平易に面白く書いたもの、内容に若干疑問の事項があるけれども、行文も上品に読み行く中に數學發見の特殊な興味と科學者の眞理探究に於ける眞摯な態度に對する敬虔な念とを惹起し得ることゝ信ずる。小學上級の算術中の挿話資料としても妙であらう。(中等初級、數學)

1600 理化學史物語 宮道馨著

1冊 四六判 344頁 2.50 東洋圖書株式合資會社

發明發見の理化學上の仕事を學者を中心として物語に纏めたもので今日までの理化學の進歩の一方面を窺ふ事が出来る。發明發見が必ずしも計畫的でなく偶然であり、微妙な所に因を成してゐるといふ様な意味も十分溢れて、青年の讀物として適當なるものである。尙卷末に理科年表をそへてある事はよい思ひつきである。(中等、理科)

1601 キリスト 佐藤紅綠著

1冊 菊判半裁 197頁 0.90 牛込區矢來町三 新潮社

卷尾に收められた上演當時の本戲曲の批評の要點——著者が舊約、新約に通じ、劇として巧に構造したこと、宗教劇として讀ませても見せてもよいこと、使徒がヤクザになり過ぎてゐること等、當つて居るだらう。(大人、戲曲)

1602 國語の愛護 五十嵐力著

1冊 四六判 170頁 1.50 牛込區 早稻田大學出版部

著者が大隈會館で日本處女會の人々に話したといふ「國語愛護」の速記を初め、「國語國文教育の重要なる着眼點を論ず」、其の他四篇が收めてある。國語の純正、洗練、統一、豊富を冀ふ著者が衷心より現代の國語教育者に呼びかける言葉である。一般國語教育者に推奨する。

人、國語)

1603 國體に對する疑惑 里見岸雄著

1冊 四六判 295頁 2.50 西宮市宮西十六 里見研究所出版部

著者が東京、京都の兩帝大、早大、商大、同志社大學、陸軍士官學校等の卒業生並に在學生に國體に對する疑惑を赤裸々に擧げさせその主なるもの五十餘項を掲げて之に解答を與へたものである。従つて書名は「國體に對する疑惑と之に對する解釋」とでも云ふのが本書の内容から言へばよく相應してゐる。列擧せられた疑惑の第一には御眞影に敬禮するは要するに偶像崇拜に非るかとか、天皇は何故に神聖なりやなど云ふ畏れ多い様な向きのものがある。之に對し、著者の獨創的見地に立脚する日本國體學の立場より、又熱烈な愛國の至念より懇切に説得してゐる。その説明方法の一々の可否に就いては、人の立場に依り議論もあらうが、とにかく思想國難の叫び喧しき今日、この書に擧げられた疑惑の項目だけでも眞面目に考へてみたい。一般、殊に青少年指導の立場に在る人々に一讀を薦めたい。(大人、思想)

1604 南京の皿 佐々木茂索著

1冊 四六判 380頁 2.20 芝區愛宕下町四ノ六 改造社

雲に鳥、以下十六篇の小品ををさむ。軽い氣持の作が多く、先づ無難。(大人、小説)

1605 日本改造の具體案 田中澤二著

1冊 菊判 197頁 1.00 東京長崎町三二四二 らんせん莊

日本建國の主義に立脚して新しき日本の政治を樹立し、現在の日本を改造しようとして、その改造の具體案を立法、教育、國民生活の三方面から述べたもの。具體案ではあるがよくよくの大綱であり、幾分實際から離れた私案たるの嫌もあるが、その著者の所謂國體精神が全文を一貫して流れてゐて、讀む人をして感動せしむるところがある。國民的自覺、國家的精神、識見の養成上一讀の書であらう。(大人、思想)

1606 伊太利美術をたづねて 大類伸著

1冊 四六判 223頁 2.00 日本橋區本石町三 博文館

歐洲留學中の紀行の一部で伊太利に於ける古美術行脚とでもいふべ



き書である。著者は人も知る歐洲中世史の研究家で自然その着眼點なども中々非凡であり、特にルネツサンス時代の作品についての記述等は手に入つたものである。巻頭に載せた多くの寫眞が又大變よい。此の方面に興味を持つ者、又は一般美術愛好家の必讀書であらう。

(中等上級以上、美術)

- 1607 毛 斷 害 有 根本十郎著  
 1 冊 四六判 152 頁 1.00 神田區表神保町 崇文堂

著者の歐洲所觀に、祖國に對する批判を附加したもの。書名も文章もふざけてゐるやうでその實頗る寓意に富んだしつかりした讀物。はじめの海外旅行者にも手引となり、又居ながらにして世界の風習をも覗かせてくれる鎖閑讀物。(大人、隨筆)

- 1608 日本國國民に與ふ 蔡培火著  
 1 冊 四六判 188 頁 0.60 神田區中猿樂町十七 秀名社

著者は臺灣人でしかも最初の東京高師出身者、その母郷の爲に慨然として筆を執つたもの。所説悉く現代日本人を首肯させるかどうか疑問だが、序文で、田川大吉郎氏も述べたやうに、「臺灣のために無くてならぬ著述」。おもふに之を讀んだ何人もが著者の熱意に刺戟されるであらう。(大人、思想)

- 1609 短歌は如何にして作るか 小林鶯里著  
 1 冊 四六判 266 頁 1.20 牛込區新小川町二の四 文藝社

はしがきに和歌の發達と系統とを略述し本文に於て作歌の用意、歌の種類、言葉、歌調、切字、掛詞、短歌について簡單なる説明を加へ、次に主なる枕詞、短歌、類語集、源氏五十四帖、六歌仙、三十六歌仙等の歌を載せ、更に作例として八代集あたりから古人短歌約一千題を選んで、之れを四季、戀、雜、等の類別によつてならべたものである。(大人、國語)

- 1610 聖書の人々 山室軍平著  
 1 冊 四六判 397 頁 1.50 神田區一橋通町 救世軍出版部

三年間に亘つて雑誌「ときのこゑ」誌上に連載した聖書中の人物に關する文章五十二篇を集めたものである。著者の甚だ多忙な生活に於て寸暇を惜んで執筆した尊い汗の結晶。書中隨所にその崇高熱烈な信

仰の現れを見る。精神修養の書物として一般殊に青年に讀ませるに相應しいものと思はれる。(大人、修養)

- 1611 黒潮に聽く 清澤冽著  
 1 冊 四六判 605 頁 2.80 日本橋區元大工町十二 萬里閣

偏狹なる愛國心と國家主義とを抛つてプロードビューを有する國際主義の上に立ち世界の趨勢に順應して我が國の趨嚮を誤らざらしめん爲に汎く太平洋沿岸諸民族諸國の最近の傾向と、問題とを詳叙せるもの。該博なる見聞と精細なる研究とは敬讀に値する。(大人、思想)

- 1612 明治國民教育史 町田則文著  
 1 冊 菊判 582 頁 4.00 麴町區飯田町六の十二 昭和出版社

著者はその五十餘年の公生活を、一に學校教育を以て終結したる人、その關する所普通教育師範教育より新領土教育、特殊教育に及び凡そ明治以來の教育には殆ど關らざるものなき程である。本書は本邦教育史上一大展開をなしたる明治教育を著者の實歷體驗の記録を資料として内面的に詳説したるもので、特に明治維新當時より明治二十三年第二次の小學校令發布、同年十月三十日煥發の教育に關する勅語の下賜時代までを細叙し、其の材料が一々氏の周密な日録を主とするものである故、正確なる上に興味も多く、實に貴重なる明治教育史料として推薦するに足る。(教育書)

- 1613 最近文檢東西教育全史上 小關貞次著  
 1 冊 菊判 886 頁 7.00 本郷區動坂町一一二 日比書院

東西教育全史中の上巻で、日本教育史、東洋教育史の二篇からなる。主として文檢參考本として編述したもので、その特色とするところは、内容が豊富でよく諸方面を網羅したところにある。殊に日本教育史では明治大正の教育を詳説し、植民地の教育を細叙したところ、東洋教育史では支那の教育の外印度、波斯、亞細亞土耳其、西比亞等の教育をまでのべたところは普通の教育史と異るところである。多くの人の研究から、よく資料を集めて、着實に是を整理してあるが、學問的に出來上つたものとはいへない。どこまでも受験參考的のものである。然しいかにも親切、着實であるから、讀者にとつては大に便益を與へてくれる。獨り文檢參考たるのみならず、一般教育者にとつてもよき



伴侶であらう。(教育書)

第 96 回 (昭和三年七月三日)

- 1614 **飛行機の新智識** 平田潤雄、秋間保郎共著  
1 冊 四六判 211 頁 1.20 神田區錦町一の十九 子供の日本社  
「飛行機はどうして飛ぶか」以下廿七篇。飛行機發達の歴史と現状その構造各様の飛行法を詳述し、更に模型飛行機の作り方から落下傘飛行機母鑑、横斷飛行、飛行士志願者の進むべき道等、飛行に關係した事柄は細大となく述べてある。内容に難解な點が數々あるけれどももともと原理のむづかしいもの、これ以上子供に解らせるやうにとは無理な願ひであらう。行文の字句、挿繪の文字等には時々どうかと思はれるものを認める。(初等、理科)
- 1615 **小學生全集15 日本文藝童話集中** 菊池寛編  
1 冊 菊判 250 頁 非賣品 日本橋區馬喰町二ノ一 興文社  
菊池寛の「三人兄弟」から芥川龍之介の「蜘蛛の絲」に至るまで十八篇、各異る文士の文藝的童話を改めたもので、可なり面白く讀まれる。活字をもう少し大きくし、(たとひ作品の數を多少割愛しても)表紙になほ考慮を要し度い。(初等、童話)
- 1616 **小學生全集30 飛行機と潜水艦** 長岡外史、日高謹爾共著  
1 冊 菊判 214 頁 非賣品 興文社  
飛行機のはじめより現在に至るまでのこと、並に潜水艦のことについて色々のべてある。なほ卷末に魚形水雷のこともそへてある。有益なもの。(初等上級、理科)
- 1617 **小學生全集44 西洋偉人傳** 菊池寛著  
1 冊 菊判 254 頁 非賣品 興文社  
西洋各國の偉人の傳記を簡易に要領よく書いてある。至極よきもの。(初等上級、傳記)
- 1618 **小學生全集66 園藝と小家畜** 千葉敬止著  
1 冊 菊判 211 頁 非賣品 興文社  
普通に行はれる園藝と小家畜とにつき可なり詳細に説明し、實行の

指導をしてゐる。やゝ専門的なので小學生には一寸讀みこなせないかとも思はれるが、やがて理解される場合にはよい参考書とならう。内容も豊富であり、説述も懇切であるから、寧ろ一般の趣味書としてよいと思ふ。(中等中級以上、園藝、家畜)

- 1619 **小學生全集42 太平記物語** 菊池寛著  
1 冊 菊判 239 頁 非賣品 日本橋區馬喰町二の一 興文社  
南北朝時代の事柄を、少年向の太平記として平易に物語にしたもの。讀み行くに従つて血の湧くを覺える。文字も大きくて讀みよい。少年讀物として上乘のものである。蓋し、小學生全集中の大立物であらう。(初等上級、物語)
- 1620 **世界地理讀本** 遠藤金英著  
1 冊 四六判 388 頁 2.20 東京西大久保四五九 古今書院  
著者が海外遊學の際、歴遊したアメリカ、英吉利、北歐、獨逸、フランス、伊太利、瑞西等の見聞記。特に年少者のために面白く、且自然に智識を得る様にかいてある。普通の旅行漫談とは異なり、中學の地理の補充として、よませたい。(中等初級、地理)
- 1621 **女學校を卒へて** 小山文太郎著  
1 冊 四六判 276 頁 1.20 麴町區大手町一の一 三省堂  
これからさきどうしようと、輝かしき歡びに充たさるべき卒業式を目前にして、それは又餘りに傷ましい憂愁と焦燥とに心捉はれる若き女性達に、彼女達の悩みを解くべき鍵、未來の進路を示すべき指南車として書かれたもの。(中等、雜)
- 1622 **新體平家物語上卷** 射手矢貞三著  
1 冊 菊判 326 頁 2.20 神田區錦町三 培風館  
平家物語は今更に言ふまでもなく劃時代的大作品であるが、之を著者は獨特の工夫を以て評釋し鑑賞してゐる。實に趣味津々、一讀卷を措く能はざるものがある。好適の讀物として推薦する。(中等中級以上、物語)
- 1623 **東洋史物語上下** 白井繁太郎著  
1 冊 四六判 538 頁 2.40 神田區表神保町二 東洋圖書株式合資會社



中等學校東洋史學習の參考用、並に一般家庭の讀物としてすゝめる。但し材料に何等の輕重も附せず、選擇を加へず、羅列してあるだけであるから、讀者の方で相應に考慮を加へる必要がある。(中等上級、歴史)

1624 思想の動き 春日賢一著

1冊 四六判 338頁 非賣品 長野縣飯田町 著者

若き人達の修養のために書いた篤志の出版である。内編として纏々青年に教ふる所があり、外篇として著者が外遊の折の感想、紀行等を載せてある。全篇何れも面白く讀まれるが殊に外篇には教へられる所が多い。(中等上級、修養)

1625 ムツソリーニとそのフアシズム 井上静一譯

1冊 四六判 192頁 1.00 京橋區南紺屋町 實業之日本社

ムツソリーニ自身が推獎して居るといふ原著を邦譯したもの、その人物を知るには恰好の本。(大人、傳記、政治)

1626 西洋哲學物語 村松正俊譯

1冊 菊判 664頁 4.80 小石川區表町一〇九 アルス

米國デューランドの原著を翻譯したもの。哲學といふ、四角ばつたやうな學問にもかういふ見方、考へ方、扱ひ方があり、そして恐らく米國人がかういふ風に哲學して居るだらうといふことを知るには大層よい本である。哲學を研究する人、若しくは米國を知らうとする人に推薦したい。(大人、哲學)

1627 デンマークの農村生活 小出満二、内山數雄共著

1冊 四六判 204頁 1.60 日本橋區通三 成美堂

内山氏が丁抹に留學滞在中の見聞及び感想に、小出氏が加筆したもので、安易に倦きなく讀まれ、世界一の農業國といはるゝデンマークの農民の生活狀況を知るには恰好の本である。我が國の現状に照し、必讀の書として一般に推薦する。(大人、社會)

1628 人生の旅 山室軍平著

1冊 四六判 278頁 0.75 神田區一橋通町 救世軍出版及供給部

「人生の旅」以下十三篇からなる。著者の説教講演を筆にしたもの。色々の方面から、キリストの教を説いた平易通俗適切なる教訓で

ある。(中等以上、修養)

1629 影は夢みる 生田春月著

1冊 四六判 202頁 1.20 牛込區矢來町三 新潮社

「人生に添ひ行く」以下三十餘篇の隨筆集である。詩人のものしたものだけに各篇とも情趣のこもつたもの、文章もなだらかに洗練されてゐる。(中等上級以上、隨筆)

1630 住居の衛生 藤原九十郎著

1冊 四六判 396頁 1.80 日本橋區本石町三 博文館

家庭醫學講話第五編。健康を保持するために、如何なる住宅敷地がよいかを始めに述べ、次に居室子供室の設備から臺所、便所、浴室等衛生上の諸問題を正確且平易通俗に述べてゐる。一般常識として心得て置いて然るべき事柄を、學理に根ざし實際的に説いてゐる。出来るなら各家庭に一本を具へ、さし當り主婦等の必讀すべき書物としてここに推薦する。(大人、衛生)

1631 戯曲落葉日記 岸田國士著

1冊 菊判 282頁 1.80 麴町區一番町五 第一書房

落葉日記以下六編を収む。氣持のいい本である。綠蔭等に繙くによい。(大人、戯曲)

1632 態度馴致の讀方教育 宮川菊芳著

1冊 四六判 420頁 2.60 麴町區下六番町四八 厚生閣

文そのものゝ本質を度外視して只徒に主観とか、讀自とかを偏重し、主張する現在讀方教育の大勢に慍らない著者が「讀む正しい態度」——著者はそれを文の本質に即した讀方、即ち文と言ふものは如何に讀むべきものであるかと、言ふことに合致した讀方のことであると言つてゐる——の馴致を以て讀方教育の全目的とする事によつて、その缺陷を補ひ得ると信じ、その方法と、實際とを纏々細説したものが本書である。豊富な實際經驗に基いた眞摯な研究だけに聞くべき説が多い。(教育書)

1633 個性教育の原理と方法 檜崎淺太郎著

1冊 菊判 559頁 5.50 神田區錦町三 培風館

著者の所謂純粹心理學的事實の上に立脚し、個性の教育は如何にあ



るべきか又如何に爲すべきかといふことを主たる目標として論述した  
もの。教育はあくまでも眞の人間陶冶でなければならない、個性の完  
成であるべきであるといふ精神から、著者自身の高き體驗に加ふるに  
該博にして深遠なる蘊蓄を傾けてゐる。内容豊富論旨明快、眞實のこ  
もるその筆端、讀者をして思はず襟を正さしめるものがある。教育家  
宗教家、政治家はもとより、その他一般人士に必讀をすゝめたい本。  
(教育書)

# 著名の薦推會溪茗

## ムツソリニ傳

澤田 謙先生著 四六版 四百四十餘頁 上製函入  
二十世紀の驚異、世界的英雄の大傳記、小説  
よりも奇しき波瀾重疊の物語！ 著者は我國  
政界、思想界の新人！ 筆をとつては夙に名  
あり、一讀何人をも熱狂せしむる一代の快著

## 歐米夫人物立志傳

北島利男先生著 四六判美裝 名家寫眞入  
現代歐米の大實業家、發明家等の苦心慘憺た  
る奮闘傳で、全篇悉く血と涙と汗の記録！  
我等は思はず手に汗を握つて讀ませられる。

## あゝ玉杯に花うけて

佐藤紅綠先生著 四六判 定價壹圓五拾錢 送料  
病母を抱えた貧しき少年三が、凡ゆる屈辱  
と苦難に堪へて奮闘、天晴、少年少女必讀の書  
はれるまでの壯烈の物語、少年少女必讀の書

## 思想山水人物

鶴見祐輔先生著 四六判函入クローズ 寫眞新裝  
本書は先生が親しく世界の大人物に接し、古  
今東西の人情風俗及び思想を追及し、詩想湧  
く時は、一木一草にも無限の感慨を述べたる  
隨筆集——見逃すべからざる名著である。

## 北米遊説記

鶴見祐輔先生著 四六判クローズ函入 挿畫十數葉  
世界を知れ!! 日本を知れ!! 偉人傳あり、  
世界花形人物評あり、文學政治、宗教、居乍  
の根本を了解せん。新日本の進むべき道を知  
らんことを欲する者は讀め! 筆者は云ふ「余が  
最も心血を注げる大事業である……」と

東京市本郷區駒込坂下町  
大日本雄辯會講談社

振替東京 三九三〇



# !! 著名の選粒一に眞

<p>◆ <b>文 學 概 論</b> 早大教授 本間久雄著 文學博士 金子筑水著</p>	<p>◆ <b>藝 術 の 本 質</b> 文學博士 金子筑水著</p>	<p>◆ <b>歐 洲 思 想 大 觀</b> 文學博士 金子筑水著</p>	<p>◆ <b>現 代 哲 學 概 論</b> 早大教授 西村眞次著</p>	<p>◆ <b>萬 葉 集 の 文 化 史 的 研 究</b> 森口多里著</p>	<p>◆ <b>近 代 美 術 十 二 講</b> ルナン著 廣瀬哲士譯</p>	<p>◆ <b>耶 蘇</b></p>
18版	7版	18版	18版	2版	17版	11版
送料 二・八〇 定價 三・〇〇	送料 二・八〇 定價 三・〇〇	送料 二・八〇 定價 三・〇〇	送料 二・八〇 定價 三・〇〇	送料 二・八〇 定價 三・〇〇	送料 二・八〇 定價 三・〇〇	送料 二・八〇 定價 三・〇〇
▼佐々木信綱博士、五十嵐力博士、中村吉藏氏、宮森麻太郎氏、其の諸名士より空前の名著と推賞されるもの、理論整然、資料豊富、眞に類書中第一の名著也。	▼藝術とは何ぞや、人生に於ける藝術の價値如何、更に一般文化の界上に於ける藝術の位置如何、この問題に於ける藝術の名著也。	▼ギリシヤ思想、基督教、ルネサンス、啓蒙思潮、ロマンチズム、最近の思潮等、大別して、歐洲思想の變遷を推し、大別して、歐洲思想の唯一無二の名著也。	▼複雑多岐を極めたる現代哲學の系統或は断絶し、或は横断して全體の潮流を平易に、或は横断して全體の系統を明かに講述し、明快に、且つその意義を明かにせる名著也。	▼萬葉集を文化人類學の立場から研究して、飛鳥樂時代の民衆生活から明かにその研究したエポック・メソッド・キングの研究した名著。	▼ラファエル前派、印象派、後期印象派、表現派、未來派、立體派、ダダイズム等、近代のあらゆる美術上の諸運動を一括して講述した名著。口畫數十葉挿入。	▲ルナンの「耶蘇」以上に最早の批評家を書く餘地なしと多く、その流麗な筆致に一致した言文は完全な邦語に譯された。

發行所 東京 東堂 町保神表田神京東 番〇七二京東替振 番八八八至田神 (番五八八自話電)

## 讀書界評判の鶴見祐輔先生著

見よ、大識見！ 大熱誠！  
 見よ、大熱誠！  
 修養に志す人は來れ、人格を練らんとする者は見よ、  
 何人も來つて氏の意氣に接せよ、  
 之ぞ現代の一大文獻！

### 英雄待望論

犠牲の大廉價！ 四百頁の大冊五十錢（送料八錢）  
 田園に、學園に、海濱に、  
 第二の南洲、第二の龍馬、第二の松陰出でよ  
 全世界の大偉人大思想家が熱血の筆に描き出さ  
 れ讀者の心胸躍らざらんとするも能はず眞に大  
 識見！大感激！之を讀んで奮起せざる者なし。

### 中道を歩む心

四六判函入挿畫十數葉 定價貳圓五拾錢（送料拾四錢）  
 著者は赤裸々に自己の思想、感情、信念を表明  
 し、現代日本及び日本人の行くべき道を啓示せ  
 るもの。或は論文あり隨筆あり傳記あり紀行あ  
 り、筆端靈光を發し、言々只々感動感激！

### 現代日本論

四六判洋裝函入 定價壹圓六拾錢（送料八錢）  
 之れ鶴見先生がコロンビア大學其の他米國各大  
 學に於て講述せる世界的の大文章である。

### 壇上紙上街上的人

四六判クローヌ函入 定價貳圓七拾錢（送料拾四錢）  
 情熱の氏が自由奔放、流麗の明文に託して、各  
 界の總ゆる人物を論評！何人も必讀の大名著！

### 南洋遊記

菊野クローヌ函入挿畫數十葉 定價六圓（送料拾八錢）  
 見よ！！ 膨程一萬五千裡！ 全南洋の  
 豊庫と樂園とを記述して餘す處なし！

町下坂込駒郷本京東

發行所 東京 東堂 町保神表田神京東 番〇七二京東替振 番八八八至田神 (番五八八自話電)



京城帝國大學教授 鳥山喜一 著

四六判總布製・地圖十三葉  
挿畫九十四圖、年表、索引

定價二圓五十錢  
普通送料十二錢

五版發賣

# 支那小史 黃河の水

本書は東京高等師範學校校長會の特別推薦書です。  
進内容見本  
(雜誌名記入申越のこと)

最高の讚賞 無限の推賞

現在の初等教育に於て、特に緊要なるは、支那歴史(東洋史)を修業せしむべきことの急務である。さりとて、今日迄日本歴史や西洋史には數多の参考書が出版されてゐるが、日本歴史に次いで最も學ばねばならぬ東洋史支那史については理解され易い著書の出版がされてゐなかつた。その因らざる一般國民が支那に對する理解の疎いのは畢竟眞に判り易い支那歴史が無かつたのに因るとさへ云はれてゐる。本書は正にこの缺陷と要求とを遺憾なく充すために出現したものである。  
「黃河は實に支那のシンボルである」その長き廣き流域の變化にも似たる支那の社會の過ぎ來し跡、窺ひ知れぬ深き底に潜む知らざる力にも比す可き支那民族の裡に包む力、その遠き遠き河源にも擬す可き支那文化の淵源、本書は正にこの民族の過去とより文化の歴史である。  
流麗なる口語文の記述は、小學生も獨り讀み得可く、無數の挿畫と共に解し得られる。而も高き文化史觀に立つ、その組織と取材とからは學者も教育者も啓發せらる、所が少くない。  
所謂難解無味なる東洋史も、この一書によつて完全に我が少年少女の常識になり得ると共に、一般人士に裨益する所が多いであらう。

龍澤榮一述

青淵先生訓話集

我國最大の大人物の活教訓、青少年教育の活經典

定價一圓五十錢  
普通送料八錢

東京日日新聞編輯

經濟風土記(東化の卷)

地理教育上の活きた参考書、興趣深き國土の紹介(東海、關東の卷近刊)

定價一圓八十錢  
普通送料十二錢

伊藤金次郎著

わしが國さ(上下)

各地各國の人物の出世談、失敗談、眞に青年訓育の活資料

定價各一圓三十錢  
普通送料各六錢

刀江書院圖書目錄雜誌名記入申込次第進呈

東京・駿河臺 刀江書院 電話 三三二一  
東京・駿河臺 刀江書院 電話 三三二一  
東京・駿河臺 刀江書院 電話 三三二一

關西大學學長 京都大學名譽教授 法學博士

仁保龜松 著

菊判背革

定價二圓三十錢  
書留送料二十七錢

新刊發賣

# 國民法制通論 (國家篇)

本書は日本國民をして本邦法制の綱要を了解し、國家及び法律の普通智識を修得せしむるを以つて目的と爲すもので、其の説く所理論に拘泥せず、寧ろ現實を釋明せんことを努め、一般國民が現行法制の大意に通曉することの要求を充してゐる。殊に本卷は國家篇にして日本法制の沿革より、國體の根本精神を解明し、政體及國家の諸機能論證して、國家興亡の理義を教示せられてゐる。近時思想問題の云々せらるゝ折柄、中學、師範、實業の各學校及大學豫科等に於て國體の理義を教授するに、最も適當なる教科書、參考書として、各方面より認識せらるゝ名著である。

柳田國男氏序  
福田德三氏序  
伊能嘉矩著

帝國學士院推薦  
臺灣文化志

上中下三卷

定價 各十圓  
書留送料  
內地各三十六錢  
其他七十五錢

松岡靜雄著  
天野敬太郎編

日本語學  
論文集總覽追篇

改訂版

定價二圓八十錢  
書留送料十八錢  
附錄  
執筆索引  
定價四圓八十錢  
書留送料二十七錢

刀江書院圖書目錄御申込次第進呈

東京・駿河臺 刀江書院 電話 三三二一  
東京・駿河臺 刀江書院 電話 三三二一  
東京・駿河臺 刀江書院 電話 三三二一



陸軍省新聞班長  
陸軍大佐 櫻井忠温著

定價壹圓貳拾錢

送料 八錢

第五十五版

# 將軍乃木

東京東橋南紺屋町  
實業之日本社  
振替東京東橋南紺屋町六番

赤裸々なる  
一人間乃木

「將軍乃木」は、昭和出版界の驚異と稱せられるまでに、全國的大評判となつて居る。これ果して何の爲ぞ？  
書く人は櫻井肉弾大佐、書かる人は一代の名武將、まづ著者に其人を得てゐる點で心を惹かれる。繙いて讀んでみると、その描かれ

た乃木將軍は、從來の如何なる書物にも嘗てなかつた乃木將軍である。神様の乃木將軍で木はない人間乃木希典である。煩悶もあり、苦惱もあり、缺點もあり、ユーモアもある一人間乃木希典の在りのまゝ、の、少しも飾り氣のない姿が浮彫の如く炎立つてゐるからである。

學習院の五若宮殿下台覽  
前東京高等師範學校教授 北垣恭次郎氏著

東京市京橋區南紺屋町十二番地

實業之日本社發行  
振替東京東橋南紺屋町六番、電話京橋五一二一

# 國史美談

定價前國史談美各稅郵  
上・中・下各卷  
中各篇壹圓  
下各篇壹圓  
拾五圓  
拾八圓  
拾五圓  
拾五圓  
拾五圓  
拾五圓

帝國圖書館に於て推薦  
せられたる立派な讀物

現代の小學校の教科書では子供がおさらひをする事が出来ない文章です。本書は子供が讀んでも大人が讀んでも、面白い／＼でついやめられない程の事柄と、讀み易い文章で、神代から大正天皇御大葬までを書き下したもので、課外讀み物として御家庭でお讀みになれば、頗る有益で、趣味の多いものです。

國史美談	上卷	上代より足利義滿まで	九十三版
國史美談	中卷	義滿から徳川秀忠まで	八十三版
國史美談	下卷	家光より和親條約まで	七十五版
國史美談	前篇	米使來朝より五稜郭の戦争まで	四十五版
國史美談	中篇	明治初年より帝國議會開設まで	三十二版
國史美談	後篇	條約改正より日露戦争後まで	二十三版
國史美談	現代史	大正天皇崩御、御大葬儀まで	五版



東京市視學官 東京市立高等師範學校

田村虎藏先生著

# 檢定唱歌集

本書の特色

●本書の歌曲計四百廿一題は悉く文部省檢定済であるから、教材の選擇適用上、何等の苦勞も非難もない。尙本書掲載の歌曲は、各學年各學期に配當し、尙、歌曲の説明・教授上の注意・作曲者の傳記等を詳細に記述してある。

●尋常科用には、學校生活に要する儀式唱歌十五種を巻末に收め、高等科用は、男子用と女子用とを區別し、男子用には單音の外に二部輪唱と二部重音とを、女子用には二部及三部輪唱と二部及三部の重音唱歌とを載せてある。

# 檢定唱歌集伴奏書

▲唱歌教授の完全を期すべき伴奏書出づ

高等科用七月發賣の豫定

改訂音階圖

掛軸

音階圖は歐米各國に於ても唱歌教授上使用されない處はない。然るに我國にはこれが良好のものはないのを遺憾とし、先生の考案された優良の音階圖であります。

オオルガン教科書

文部省檢定済

秩序よく、分り易く、學び易く編纂されてあるから、初等オルガンの教科用、自習用として絶好のものである。

尋常科用全一冊

定價金 三圓

送料金 十二錢

高等科用全一冊

定價金 二圓五拾錢

送料金 十二錢

尋常一・二學年用全二冊

定價金 二圓

尋常三・四學年用全二冊

定價金 二圓五十錢

尋常五・六學年用全二冊

定價金 三圓

右三冊送料各十二錢

定價金 二圓

送料金 十二錢

定價金 六十五錢

送料金 拾八錢

東京市 京鍛 橋町

松三邑松 堂

振七 替九 東三 京四

東京高等師範學校教授

文學博士 田中寬一先生著

# 教育的測定學

布製函入 六百餘頁 定價五圓 送料廿錢

今回文部省ハ中等學校ノ入學志願者選抜ニ當ツテ小學校ノ成績ヲ尊重スベキコトヲ指示シ、又個性尊重、職業指導ニ關スル訓令ヲ發シマシタ。誠ニ時宜ニ適シタ處置デアリマス。併シ此等訓令ノ旨趣ヲ徹底セシメルニハ先ツ兒童ノ素質ヤ成績ノ測定ヲ嚴密ニスルコトニヨツテ兒童ノ發達ノ有様ヲ從ツテ自己ノ試ミタ教育法効果如何ヲ檢討スルコトガ出來マス。其他如何ナル教育上ノ改善モ皆其ノ基礎ハ教育的測定ニアルト考ヘマス。弊堂ハ茲ニ見ル所アリ、斯界ノ權威者タル田中博士ニ乞フテ本書ヲ上梓スル光榮ヲ有シマシタ。

本書ハ最初ニ測定法ノ基礎ニナル統計法ヲ説キ、次ニ學業成績及ビ智能測定法ノ理論ト實例トヲ示シテアリマス。在來ノ教育的測定法ノ著述デハ之レデ盡キテ居ルノデアリマスガ、本書ニハ、其ノ上ニ教育家力最モ必要ヲ感ジ且ツ最モ困難トスル操行調査法ニツイテ適切ナ方法ヲ論述シ、更ニ世人ガ殆ンド問題トシテ居ナイ身體検査法ニツイテ新畫面ヲ説イテアリマス。

本書ニヨツテ教育的測定學ハ一ツノ體系ヲ與ヘラレタモノデ、本書ノ説ク所ヲ實行スルコトニヨツテ個性尊重、職業指導ハ科學的根據ヲ有スル様ニナリ、教育改善ノ端緒ガ得ラレルコトヲ確信シマス。此ノ意味ニ於テ世ノ教育實際家ガ本書ヲ座右ニシテ考查上ノ指針トセラレンコトヲ希望シテヤマナイ次第デアリマス。

東京市 京鍛 橋町 松三邑松 堂 振七 替九 東三 京四



國定書方  
手本筆者 西脇吳石先生 今夏新揮毫

(尋常小學)

自一年  
至四年

最新鉛筆書方練習帖

前期用  
後期用

五年  
六年

最新ペン書方練習帖

前期用  
後期用

(全二十冊)

各冊定價金五十錢

●西脇先生揮毫の各種硬筆習字帖●

高等  
小學 ペン書方練習帖

第一學年上、下 全四冊 各二十錢  
第二學年上、下 全四冊 各二十錢

(高等小學用)

實用ペン習字練習帖

卷一、卷二 各冊 二十錢  
卷三、四、五、六 各冊 廿五錢

(補習學校用)

東京府青山師範學校教諭

齋藤梅雄先生著

新訂硬筆書方教授法

定價二圓五十錢  
郵送料金八錢

(硬筆教授界の一大福音)

東京府 京鍛 橋町 松三堂 振七 替九 東三 京四

東京府青山師範學校  
府立第八中學校教諭

齋藤梅雄先生著

(定價二圓五十錢 送料十錢)

# 新訂硬筆書方教授法

本書の特色と内容

▲本書は著者が前に出版して書方教授界に一大革命を起した、舊著に増補大改訂を加へたものである。  
▲本書は理論に偏せず、しかも一方法論に満足せず、組織的に現に著者が青山師範附屬・青山師範學校・府立第八中學校で實施しつゝある、小學校・中女學校・師範學校何れの學校にも適用し得る論述である。  
▲本書は書名が「硬筆云々」であるが、硬筆のみに偏した考ではない。所謂硬筆毛筆の長所をとり、小學校書方科の使命を考へ、しかして兩者を併用して行く、中庸を得た説述である。一讀直ちに「硬筆毛筆を如何にすべきか」が解決される。  
▲本書の内容は硬筆書方の廣義とその必要、社會に於ける必要論、硬筆書方の發達、書方教授の目的と硬筆書方、硬筆と毛筆との關係、硬筆書方の書法、同教授の實際、同成績物の處理法、硬筆書方とその應用等第十七章に亘つて細大となく説述してある。要するに硬筆教授の好伴侶であることは舊著と同様未だ他に例を見ざるところである。

硬筆書方練習帖  
實用ペン習字練習帖  
ツボペン習字帖

尋常科用 全十一冊 各冊 金十八錢  
高等科及中等學校用全六冊 一、二、三、四、五、六卷 各冊 二十錢  
青年訓練所用 楷行草全三冊 各冊 金五十錢

東京府 京鍛 橋町 松三堂 振七 替九 東三 京四







東京高等師範學校長 三宅米吉先生序  
東京官學校長 町田則文先生著

東京高等師範學校構内茗溪會藏版

# 新刊 明治國民教育史

菊判布製函入  
天金美裝  
定價金四圓  
送料拾八錢

明治昭代に於ける我が國が、駭々乎として急速の發展を遂げた事は、寔に振古未曾有の不思議であり、全世界の驚異である。此の奇蹟的な進歩發展が如何に我が國民教育に負ふところ多大であつたかは、之を明治國民教育界の元老に傾聴せねばならぬ。

本書の著者町田則文先生は、明治維新兵馬倥傯の當初より深く意を國民教育に傾注せられ、爾來五十餘年、或は各地の師範學校長並に中學校長に歴任し、或は東京高師教授兼附屬主事となり、或は臺灣總督府國語學校長となり、或は東京女高師教授兼教務幹事となり、多年一日の如く、有らゆる國民教育を體驗せられ、今なほ東京官學校長として七十餘歳の老齡を以て矍鑠として教育に奮戦されつゝある、言はゞ明治國民教育の第一人者であり元老である。本書は稿を起してより心血を注がること三年餘、而して悉く先生五十餘年間の實歷經験の表出ならざるは無く、他の如何なる人と雖も窺ひ知ることの出來ぬ貴重な資料が澤山に且つ面白く盛られてある。新しき教育界に新國民教育を研究し實施せんとして、ある實際家諸氏に向つて、三讀味讀を御薦めする。

東京 茗溪會藏版  
町田飯町麴京東  
地番二十日丁六

發行所  
和昭出版社

振替 東京 八  
三四二

東京高師教授 田中寬一先生著

# 新刊 教育的統計法

菊版布製函入  
定價參圓八拾錢  
送料 拾貳錢

現代教育ニ於ケル重要ナル一面ハ事實ニ即シテ觀察ト實驗ノ結果ヲ重シクシテ云フコトデアル。而シテ觀察ト實驗ヲ行フニハソレノ守ラナケレバナラヌ一定ノ基準ガアリ、又觀察及ビ實驗ノ結果ニツイテハ適當ナ處理法ヲ施サナケレバナラヌ。本書ハ此ノ方面ノ權威者タル田中先生ガ其等ノ基準及ビ處理法ヲ誰ニモ分ル様ニ説明セラレタモノデ尙クモ教育ノ事ニ從ヒ、教育ノ事ヲ論ズル人々ノ一讀シテケレバナラナイモノデアル。

東京女子高等師範學校教授 金子彦二郎先生著

# 新刊 言葉の魔性神 徹せる國語教授へ

四六判布製函入  
定價貳圓八拾錢  
送料 金拾錢

言葉は生き物であり、魔物であり、天邪鬼である。さうした魔性神秘性をすつかり呑込んで、之を自由自在に驅使する言葉以上の者にならない限り、人間の全精神生活の根基並に其の全我的活動の源泉を培ふ本當の教育が完うされる筈がない、本書は實にさうした方面からの新しい國語教授建設の爲に、斯界の新進金子教授により叫ばれた最も熱と實現性とに満ちた一大宣言書である。

目次 一 文字による造形藝術としての現代文學の様相。言葉の魔性神秘性に觸れて。言葉の正しい意味づけ。言葉の持つ意味。愛と感謝で物見る態度へ。テーマといふこと。なぜ俳諧を讀文材料とせぬか。狂言「栗焼」によつて人性の眞を見る。謡曲「羽衣」と日本主義。丸い卵も切りやうで。貴い食言。燕村と其の漢詩文趣味。其他

東京高師教授 日田權一先生著

# 人格觀的教育思潮の進展

價四圓八十錢  
送料十八錢

東京 茗溪會藏版  
町田飯町麴京東  
地番二十日丁六

發行所  
和昭出版社

振替 東京 八  
三四二



東京高等師範學校教授 文學博士 田中寛一 共編  
東京高等師範學校講師 文學士 武政太郎

READINGS IN PSYCHOLOGY

(英文心理學讀本)

【定價金貳圓貳拾錢 送料金拾錢】

本書ハ大學専門學校高等學校師範學校專攻科其他ノ學校ニ於ケル英文心理學教科書トシテ Titchener, Thorndike, Dunlap, James, Woodworth, Angell, Witmer, Conklin, Binet, Wundt, Koffka, Meumann, Stern, Efferhaus, Külpe, Pearson, McDougall, Drever, Myers, Stout 等知名ノ學者ノ原著カラ拔萃編纂シタモノデアル。本書ヲ用フレバ英文心理學書ヲ讀ム力ヲ養成スルコトガ出來ルト共ニ普通心理學ノ知識ヲ授ケルコトガ出來ル。

目次

- I Science in General.
- II The Definition and Subject-Matter of Psychology.
- III Methods of Psychology.
- IV Perception.
- V Association and Memory.
- VI Imagination.
- VII Thinking.
- VIII Consciousness and Attention.
- IX Reflexes and Instincts.
- X Emotion and Sentiment.
- XI Will and Personality.

東京麴町飯田町 昭和出版社 振替口座東京  
六丁目十二番地 六四三二八番

東京高師教授  
文學博士

檜崎淺太郎先生序

群馬縣女子師範  
學校教諭兼主事

下村千代松先生著

新刊 最新教育教授の理論及實際

菊判布製函入  
價參圓五拾錢  
送料金拾八錢

輓近教育教授の思想的整理の時に際し、理論と實際との調和は、昭和教育の必然的要求である。本書は實に著者の深遠なる學理的研究所、多年の教育的體験とに基き、前後二篇に於て、教育教授上諸般の問題の理論的背景を論究し、更に各科教授の最新の研究を發表せるものであつて、明確にして温健なる所論はまさに著者の人格そのものである。本書によりて吾實際教授界が教授の永久普遍の生命を把へ、獨立性を確保するに好箇の良書たることを信じて疑はないのである。

東京高師教授  
文學博士

大瀨甚太郎先生序

長崎縣師範  
學校教諭

井上貫一先生著

新刊 最新社會的敎育學

菊判布製函入  
價參圓五拾錢  
送料金拾八錢

「全體は必然に部分に先行する」如く、社會は個人に先行するが故に、社會學的認識に基礎づけられない教育は觀念的抽象と成る。社會は大いなる生命であり、生々發展して息まぬ流動である。社會は不斷に變化し推移し進歩する。従つて生ける教育は時代を洞察批判し時代の必要や要求や理想やに照準せねばならない。最近の教育上の變革は概ね社會的變革の反映たらざるはない。本書は此種社會的見地よりする批判と改造の系統的記述である。「教育の社會學的基礎」に於いて教育の社會原理を究明し、「社會原理の教育的適用」に於いて學校乃至教育社會化の理論と方法をつくす。教育革新に志ある人士の眞摯なる批判を切望する。

東京麴町飯田町 昭和出版社 振替口座東京  
六丁目十二番地 六四三二八番



御大典記念出版

東京高師 讀物調査部推薦

優良圖書一覽

若溪會讀物調査會の前身少年書類調査會の最初、大正二年より、昭和三年に至る調査報告書を年代順にまとめ、(各書冊に一々委員の權威ある審査評を附す)終りに分類索引をも附しあれば、良書の索出容易にして、學校、家庭、圖書館等、圖書購入の最良指針たることを信じて疑はない。

- |            |          |                  |         |
|------------|----------|------------------|---------|
| 東京高等師範學校教授 | 日田權一著    | 人格觀的教育思潮の進展      | 定價四圓八拾錢 |
| 東京高師教授     | 田中寬一著    | 教育的統計法           | 定價三圓八拾錢 |
| 東京女子高等學校教授 | 金子彦二郎著   | 言葉の魔性・神性に徹せる國語教授 | 定價二圓八拾錢 |
| 東京高等師範學校校長 | 三宅米吉著    | 明治國民教育史          | 定價四圓    |
| 東京高等師範學校校長 | 田田則文著    | 教育教授の理論及實際       | 定價三圓五拾錢 |
| 東京高師教授     | 下村千代松著   | 社會的教育學           | 定價三圓五拾錢 |
| 東京高師教授     | 大瀨甚太郎著   | 新社會的教育學          | 定價三圓五拾錢 |
| 東京高師教授     | 井上貫一著    | 新社會的教育學          | 定價三圓五拾錢 |
| 東京高師教授     | 北澤種一先生序  | 新社會的教育學          | 定價三圓五拾錢 |
| 東京高師教授     | 金子彦二郎先生序 | 新社會的教育學          | 定價三圓五拾錢 |
| 東京高師教授     | 野口彰先生著   | 新社會的教育學          | 定價三圓五拾錢 |

東京高師 讀物調査部推薦

兩高師主事推薦良書

東京高等師範學校教授 日田權一先生序  
東京女子高等師範學校教授 北澤種一先生序  
東京高等師範學校教授 金子彦二郎先生序

福島縣師範學校教授 兼附屬小學校主事

野口彰先生著

形態說 新教育論

形態說 新教育論

定價四圓八拾錢  
紙數四百餘頁  
價貳圓五拾錢  
送料金拾二錢

最近學界に喧しい、形態學說に對する、著者独自の創見と、形態教育の誕生、文明創造の教育と、昭和教育的の歩むべき道

形態學說と純粹現象論とは今や一切の教育學理とその方法の上にコペルニカス的轉向を要求しつゝある。深刻透徹せる體驗に基く著者の驚くべき獨創力は、茲に形態教育の原理と實際とを提げてこの要求に應へんとしてゐる。篇中點在する國際日本主義の提唱、學習形態の新研究、形態學會の試み、職業陶冶の目標、低能兒童教育の實際、體験教育の眞義、結晶以前の教育等は、著者自身の辿りし血涙史であると共に、昭和日本の歩むべき教育の正道を示したものである。

文部省國定書方手本筆者 西脇吳石先生編書

書法說明 習字練習帖

書法說明 習字練習帖

楷金送 書五料 拾四 部錢錢

社會に出て、最も必要な習字科を、教授者も生徒も重く視ないのはどう云ふものか。また、無意味に習つたのでは幾百千字書いても上達せぬ、西脇先生の工風せられた本帖によつて基本劃から根本的に練習すれば上達は目ざましいのである。熱心な教授者は必ず共鳴せらるゝ事と思ふ。各學校で課外の副教科書又は練習用として御使用あらん事を切に御すゝめする。

東京高師 讀物調査部推薦

基礎本劃習字



分類索引

初等讀物	400.....	409
中等讀物	410.....	421
大人讀物	422.....	430
教育書	431.....	431

簡野道明先生著

(四六判天金  
七百六十頁)

定價參圓八拾錢  
送本料拾八錢

# 論語解義

改訂十七版

現代漢學界の泰斗簡野先生が半生の蘊蓄を傾注して大成せられたる論語の新解にして、每章先づ原文を擧げ、次に和譯文を掲げて正確なる讀方を示し、詳細に字句の解釋を施して一章の意義を通釋し、或は坊本の誤謬を正し、或は衆説の是非を論斷する等用意周到、よく論語の眞義を闡明せる大著たる事は世既に定評あり。苟も大聖孔子の眞精神に接せんとする人々は速に座右一本を備へられよ。

簡野道明先生著

最新刊 ▲ 大學解義 ▼

四六判天金 二百四十頁 定價金壹圓七拾錢 送本料拾貳錢

好評九版 ▲ 孟子通解 ▼

四六判布裝 千二百頁 定價金 五圓 送本料廿四錢

好評七版 ▲ 老子解義 ▼

菊判天金 四百八十頁 定價金四圓貳拾錢 送本料拾八錢

三十八版 ▲ 和漢名詩類選評釋 ▼

三六判布裝 一千百餘頁 定價金參圓五拾錢 送本料拾六錢

五十八版 ▲ 增修故事成語大辭典 ▼

四六判布裝 二千餘頁 定價金六圓五拾錢 送本料廿四錢

東京神田區錦町一丁目 明治書院 振替 東京 一九四九 出版 目錄 (進呈)



初等讀物

繪本	童話	エノカケル、カタカナ・トウワ
幼年ポンチ…………… 81		ドクホン…………… 1558
日本一の繪噺…………… 170		小學生全集 <sup>2</sup> 幼年童話集…………… 1571
動物の村…………… 1502		お話あそびと小さい劇…………… 1584
	白い小兎…………… 902	
	銀の翼…………… 969	
	ひろすけ童話讀本 1・2…………… 973	
	小學生全集 <sup>3</sup> イソツブ童話集…………… 1513	
	こどもラ・フォンテン…………… 1314	
	日本神話 上巻…………… 709	
	子供の好きなお話…………… 768	
	神の馬…………… 73	
	小北極探検家…………… 74	
	教訓日本お伽話…………… 384	
	湖中の鏡…………… 385	
	怪光船…………… 436	
	小學お伽話…………… 553	
	利口な驢馬の物語…………… 646	
	蟻のお國…………… 696	
	軽い王女…………… 697	
	豆人形…………… 769	
	赤い小壺…………… 408	
	空とぶお城…………… 435	
	蛙と烏…………… 1129	
	歴史童話叢書 第一編 萬壽姫…………… 1267	
	同 第二編 あまのつゞみ…………… 1268	
	利口な驢馬…………… 1384	
	大勇士…………… 1385	

魔法の小人…………… 1387	コザツク騎兵…………… 1079
航海の巻…………… 1412	笛吹川…………… 1269
支那の童話…………… 1414	童話 マリヤ様のお星…………… 1270
未明童話集 2…………… 1428	親指トム…………… 1344
キャベツのお家…………… 1429	盗まれた王女…………… 1345
日本児童文庫 <sup>17</sup> 日本童話集…………… 1470	日本児童文庫 <sup>15</sup> 日本童話集 上…………… 1456
同 13 世界童話集…………… 1489	同 16 日本童話集 中…………… 1437
小學生全集 <sup>14</sup> 日本文藝童話集 上…………… 1514	同 10 日本お伽噺集…………… 1438
松山鏡續話・金太郎續話…………… 160	同 24 日本童話集 下…………… 1439
鶏飼姫…………… 79	同 30 アンデルゼン童話集 …… 1440
百合若大臣…………… 80	小學生全集 <sup>1</sup> グリム童話集…………… 1443
飛行機大將…………… 86	雷の生捕…………… 98
人喰ひ征伐…………… 92	その前夜…………… 100
日の丸御伽噺文庫…………… 217	リンコロン物語…………… 77
新作お伽學校…………… 228	雷の神…………… 101
グリムお伽噺…………… 275	お話の種…………… 119
幼年百譚 お話の庫…………… 306	お伽一日一善…………… 323
人魚の笛…………… 417	お伽十二階…………… 337
馬の小猿…………… 475	お伽花見車…………… 343
七面鳥の踊…………… 573	教訓日本昔ばなし…………… 348
金の鈴…………… 588	黄金鳥…………… 352
神様のお伽噺…………… 653	お伽小槌…………… 363
古事記物語…………… 657	アンデルゼン御伽噺…………… 366
薔薇の踊子…………… 678	教訓 世界動物お伽噺…………… 370
趣味讀物 實のある話 上巻…………… 679	修身お伽噺…………… 393
せんたくやの驢馬…………… 759	モノガタリ 四ノマキ…………… 397
寶島…………… 772	淡水イソツブ…………… 398
十三四歳童話…………… 815	魔女の踊…………… 420
飴チョコの天使…………… 888	黒い沙漠…………… 422
蛙の王子…………… 916	お伽おもちゃ箱…………… 423
史話童話…………… 1010	小學讀本お伽四學年…………… 444



日本家庭昔噺後篇	448	曉の小鳥	274
お伽花壇	459	小波お伽新百話	312
小波お伽新集 大波の巻	469	嘘の皮	324
小波お伽新集 小波の巻	470	スペイン 寶の町	335
能樂お伽噺 第一編	477	黄金の椿	396
母を慕ひて	521	修身 文庫 お伽六學年	276
新作 お伽 五しきの鳥	528	幼年 お話の庫 冬の部	332
大法螺	578	お伽旅行 關東地方	412
ペルシャ魔神物語	594	飛行一寸法師	416
一本足の兵隊	620	世界童話集 東洋の巻	431
たから舟	647	世界童話集 西洋の巻	432
かなりや物語	654	白鳥の魔術	476
人魚のねがひ	655	童話集 熊野詣り	574
あわて木兎	677	童話集 野薔薇の約束	589
少年 少女 たい話	733	すゞめ百まで	621
現代童話選集	739	迷ひ子の家鴨	640
眼鏡	755	ふるさと	656
子供に聞かせる 世界名話五十集	892	一日廿分間宛 子供に聞かせる話 三百六十五日	746
かみなりの子	1125	日本童話寶玉集 上巻	747
創作 童話 正チャンとリス	1126	愛のふるさと	773
青い鳥	1187	林檎の花びら	813
フランダースの少年	1292	地獄の門	1039
竹取物語	1294	花の咲くまで	1054
ピーターパン物語	1386	飛んで来い	1168
小公女	1391	少年鼓手	1230
小學生 全集53 クオレ	1473	春	1313
親孝行な少年少女の話	1569	小學生 全集56 小公子	1441
日本昔噺續話	78	王子と乞食	1468
女傑ジャンヌ	87	八つの夜	93
野の花	233	八つの夜	795
御伽講演集	239	東西御伽訓話	143

佛教お伽噺	223	支那童話三十篇	1171
ニコニコ双紙	457	小人國の話	1201
物語 第九種 母のふところ	797	西藏童話二十篇	1203
白鳥の騎士	1128	不思議國めぐり	1206
こどものシェークスピア	1166	童話 海から来た使ひ	1207
こどものダンテ	1167	母を尋ねて三千里	1210
青い船	452	新ロビンソン漂流記	1232
新作 童話 星の世界から	496	魔法の薔薇	1249
世界童話寶玉集	576	ほら博士	1250
教訓 お伽夜話	577	ロミオとジュリエット	1251
標準日本お伽文庫 上	603	未明童話集	1312
日本忠孝畫傳	691	オランダ童話集	1362
小猫の鈴	710	幼児の楽しむお話	1392
黄金の河	731	日本兒童 文庫 28 アラビヤ夜話	1507
小さな鳩	760	その後の文福茶釜	1515
黄金の貝	761	日本童話選集	1534
桃色の王女	770	小學生 全集15 日本文藝童話集中	1615
世界 童話 子供の喜ぶ面白い話	796	童 話	
新撰童話集 命の蠟燭 第三篇	827	繪入 花咲爺さん	860
論語お伽噺	887	童謡 こんころ踊	874
黄金鳥	904	鑑賞自由詩選	906
マツチの兵隊	913	小學生 全集24 日本童話集(初級)	1442
馬の王子	917	童謡 凧	1274
赤い魚	942	兎の電報	720
青い鳥	976	小學生 全集48 日本童話集	1445
小供の村	1040	童謡 白うさぎと木馬	745
實になるまで	1071	自秋童謡集 第七篇 ねんねのお鳩	838
鼠の王様	1094	同 第八篇 夕焼小焼	839
アンデルセン 童話おやゆび姫	1109	同 第九篇 阿蘭陀船	840
慕はしき人々	1143	世界童話選集お話	894
修身 童話 愛國の水	1160	お話・日本の童謡	1022



かねがなる.....	1081	興國課外讀本(三・四學年).....	392
象の子.....	1229	尋常小學自習讀本 三四年の卷 ...	725
小學詩の讀本 上・下(尋常一年用)	1430	小學課外の讀物(四・五・六年).....	279
小學詩の讀本 上・下(尋常三年用)	1431	小學課外の讀物(四・五・六年) ...	322
小學詩の讀本 上・下(尋常四年用)	1432	帝國少年讀本 六年の卷.....	434
<b>修 養</b>		兒童モノガタリ 六ノマキ.....	437
逸話讀本 第一學年.....	552	三百六母子讀本 尋常二年.....	1573
常識 涵養 頓智物語.....	792	<b>作 文</b>	
逸話の泉 第六編.....	487	大正少年傑作文.....	265
貯金實話.....	733	同.....	304
一日一善.....	5	學習指導 鑑賞兒童傑作文選.....	1490
徳目 實演修身例話資料.....	1193	改訂 尋常小學綴方 二年以上六年 ...	441
準據 子供等に ルーズヴェルトの手紙	1281	綴り方十二ヶ月.....	461
典へたる		<b>文 學</b>	
續愛の學校.....	1495	兒童芭蕉集.....	1276
逸話の泉 第七・八編.....	495	おもしろい話.....	1018
青年義勇讀本.....	229	<b>小 説</b>	
課外讀本.....	428	少女小説 紅ほほづき.....	102
力行の人々.....	1056	心のふる郷.....	672
平凡道徳.....	328	冒險小説 少年島.....	631
久堅町にて.....	167	日米未來戰.....	875
書齋より社會へ.....	1286	少年の頃.....	1021
<b>國 語</b>		家なき兒.....	1349
兒童讀本モノガタリ.....	387	天才の小技師.....	89
藤村讀本 第一卷.....	1134	ドンキホーテ 冒險廻國.....	90
尋常小學自習讀本.....	658	少年 貧兒の門出.....	134
溫習國語讀本.....	833	立志 海賊船.....	230
小學兒童讀本.....	1157	熱血團.....	245
小學兒童文學新讀本.....	1158	海賊街.....	247
科學文藝兒童讀本 一・二・三.....	1252	春浪快著集 第四卷.....	421
自學自習 國語研究書 尋常五年...	1433	少女對話集.....	622
受驗參考			
興國課外讀本(一・二學年).....	383		

家なき娘.....	1020	電車の國旗.....	753
野鳩の宿.....	1055	薄陽の旅.....	798
十五少年漂流記.....	1348	雀の頭巾.....	799
人形の望.....	94	詩の讀本.....	903
少年斥候.....	267	<b>紀 行</b>	
絶島 十五少年物語.....	299	東宮御外遊記.....	724
探検 少年 希望を抱いて.....	315	冒險 實譚 北極より南極へ.....	794
立志 ひなつばめ.....	399	南蠻探検.....	544
少女物語 春の日.....	424	小學生全集32 極地探險記.....	1447
此一彈.....	812	<b>讀 物</b>	
小さき人々.....	1095	おもちゃ箱.....	1382
ピノチオ.....	990	小學生全集22 古今東西乗物繪本.....	1444
ボムベイ最後の日.....	1231	海を越えて.....	1383
ジャンバルヂャン.....	1295	パチパチ小僧.....	1411
外相の奇病.....	503	奈翁と其元帥.....	42
<b>戲 曲</b>		動物の世界.....	44
家庭及 學校用 兒童劇.....	974	サン・ファンシーユ.....	52
踊り熊.....	1011	戰陣スケツチ.....	105
世界童話劇選集.....	814	砲臺島.....	575
短い對話と小さい劇.....	1388	校訂 少年日露戰史.....	19
小學生全集77 教育映畫物語.....	1560	話方十二ヶ月.....	460
對話と 森の月.....	861	學習室文庫 第二期・第三期.....	1471
歌 劇 學校用小脚本.....	914	<b>物 語</b>	
家庭用 兒童劇 第三集.....	915	ギリシヤ神話.....	1275
お話あそびと小さい劇.....	1584	世界名作物語讀本 一.....	1277
あわて木兎.....	677	小學生全集72 ロビンソン漂流記.....	1493
日本兒童 文庫 21 兒童劇選集上.....	1435	少年發明家物語.....	1537
同 22 兒童劇選集下.....	1594	日本兒童 文庫 33 竹取物語・今昔物語・	
少女 對話 學校劇と 童話劇		謡曲物語.....	1591
バルの音.....	539	小學生全集47 日本武勇談.....	1596
對話 學校劇と 童話劇		同 24 太平記物語.....	1619
春野の王子.....	754		
<b>詩 歌</b>			



健男兒……………	178	赤穂義士……………	1172
少年美談……………	699	傳記	
少年太平記 上・下 ……	943	小學生全集27 日本世界偉人畫傳……………	1562
リヤ王物語……………	947	發明王エヂソンと汽車を發明	
曾我物語……………	1072	したステブンソン……………	959
小學生全集43 源平盛衰記物語……………	1472	こどもキリスト傳……………	127I
古事記物語……………	1559	ロシヤ英雄 ピーター大帝……………	1341
日本兒童文庫 40 世界立志物語……………	1590	大楠公……………	1342
成功出世物語……………	11	コロンブス……………	1343
少年賞例 ナポレオン……………	12	源義經……………	1347
物語 日本刀……………	76	小學生全集79 乃木將軍と東郷元帥……………	1448
小船長……………	83	武田信玄……………	69
新約物語……………	447	安土城……………	70
面白くて訓になる 西洋の小話……………	998	リンコルン……………	55
シエイクスピアとリヤ王物語……………	1093	ナイチンゲール……………	1248
パンを求めて二千露里……………	1413	ジョージ・ワシントン……………	1494
少年飛行家物語……………	1568	小學生全集44 西洋偉人傳……………	1617
みなし兒……………	1293	發明家物語……………	361
ジークフリード物語……………	1346	工業青年成功譚……………	362
日本兒童文庫 36 西遊記・水滸傳物語……………	1506	ワシントン物語……………	652
モーゼ物語……………	1315	實業界發明界 歐米大人物立志傳……………	1024
ダニエル物語……………	1316	豪傑西郷隆盛……………	1092
ヨセフ物語……………	1535	シエイクスピアとリア王物語……………	1093
創世紀物語……………	1536	義經物語……………	1136
少年天才物語……………	1587	偉人叢書……………	111
日本兒童文庫 39 日本立志物語……………	1592	英傑傳叢書 水戸烈公と井伊直弼……………	1019
同 35 源平盛衰記物語……………	1488	奇傑勝海舟……………	1091
講談		孔夫子……………	1123
久米の平内……………	232	楠木正成……………	1145
教育講談……………	262	太閤秀吉……………	1202
歐洲戰爭 義勇講談……………	303	爲朝一代記……………	1204

爲朝物語……………	1205	日本アルプス……………	1327
ワシントン……………	1246	全國名所めぐり……………	1208
リンコルン……………	1247	豫習と復習 尋常小學地理書の新しい研究……………	1253
小學生全集39 明治大帝……………	1509	地理研究書 五年用……………	1530
同 37 日本傑人傳 上卷……………	1511	數學	
塙保己一のお話……………	1570	受験生の算術……………	1452
エヂソンとラヂオの世界……………	1073	歐米小學算術書……………	1188
歴史 西郷隆盛……………	802	小學生全集72 算術の話……………	1595
歴史研究書 六年用……………	1529	理科(科學)	
少年日本歴史讀本……………	27	科學界の不思議……………	1096
旗……………	75	飛行機のお話……………	826
國史美談 上卷……………	453	雨風地震海嘯の話……………	1113
國史美談 下卷……………	604	天上界の不思議……………	945
史談十二ヶ月……………	800	地上界の不思議……………	946
小國民の日本史 上卷……………	1009	少年少女 趣味の科學讀本……………	1057
小國民の日本史 中卷……………	1144	電氣の常識……………	1533
少國民の日本史 下卷……………	1170	日本兒童文庫 47 山の科學……………	1469
明治美談……………	1209	同 41 發明發見物語……………	1503
明治美談……………	1418	兒童の化學實驗……………	970
幕末美談……………	1278	動物繪噺……………	185
世界人類史物語 下……………	1415	理科物語 白鳩號……………	471
西洋文明史……………	1475	同 蜂の王……………	472
血煙……………	13	同 植物の不思議……………	473
家庭日本歴史……………	210	同 地球の怒……………	474
少年百譚 歴史の庫……………	292	趣味の地理叢書第四編 世界の名勝くらべ……………	512
西洋史園……………	1111	同 第五編 南極北極の探檢……………	513
童話の日本史 笠置山……………	1112	同 第六編 天界地界の秘密……………	514
日本兒童文庫 1 日本歴史物語……………	1589	命をつなぐ 火と空氣……………	893
歴史講談 吉田松陰……………	801	わかり易い地質の話……………	1169
地理		趣味の小學理科 尋常六學年……………	1273



尋常理科の新しい研究…………… 1317	にぎはしい植物の世界…………… 905
小學生 兒童動物學 中…………… 1389	少年 動物園…………… 280
趣味の小學理科 尋常五學年…………… 1390	お伽 蝶と花との對話…………… 863
小學生 飛行機と潜水艦…………… 1616	理科 兒童の動物學…………… 1082
全集60 課外理科叢書…………… 367	カヒコ 上・下…………… 1042
研究 太郎がお近付になつた動物 442	カヘル…………… 1043
お伽 科學 子供の聞きたがる話發明發見の巻 609	恐ろしい 寄生蟲の話…………… 1135
私の理科實驗室と工場…………… 732	兒童進化論…………… 1337
モンシロテフ…………… 1012	兒童文庫 面白い動物界のお話… 1122
兒童の物理學…………… 1051	第五卷 小學生 兒童工業物語…………… 1572
小學生 人類と生物の歴史…………… 1492	全集32 衛 生
全集58 日本兒童 花と果實、昆蟲の生活 1508	兒童の生理衛生…………… 970
文庫 42 同 48 地中の寶…………… 1540	日本兒童 身體と食物…………… 1505
理科物語…………… 142	文庫 59 音 樂
子供の聞きたがる話 生理衛生の巻 680	赤い鳥 童謠第4集…………… 692
化學工業の巻 理科趣味の友…………… 1161	ほうほう螢…………… 750
豫習と復習 尋常小學理科の新しい 研究…………… 1254	ニコニコピンピンの歌…………… 825
化學の御話…………… 971	小學生 音樂の話と唱歌集…………… 1510
自學 理科研究書…………… 1434	全集67 圖 畫
お天気と雲の話…………… 1538	圖畫の學び方と描き方…………… 1363
趣味の小學理科 尋常四學年…………… 1539	小學生 兒童漫畫集…………… 1449
飛行機の新智識…………… 1614	全集23 手 工
日用科學の常識…………… 1189	チエノイロイタ…………… 126
エヂソンとラヂオの世界…………… 1073	モンキリヌキ…………… 127
珍談百一篇…………… 690	ガタ 圖解キリヌキ十二月…………… 128
兒童の植物實驗…………… 975	圖解キリヌキ十二月…………… 128
少年 科學 珍しい動物の生活…………… 862	子供に作れる器械と模型…………… 1586
タンボポ…………… 1041	軍 事
兒童の植物學…………… 1052	小學生 海軍と海戰の話…………… 1561
兒童の昆蟲學…………… 1053	全集51 陸軍の知識…………… 1319
	體 育
	少年 選手の練習法…………… 1127
	少女

小學生 兒童のスポーツ…………… 1446	こども 論理學 プロメトイアの火…………… 1588
全集 娛樂	日本兒童 世界の不思議…………… 1593
小學生 面白文庫…………… 1512	文庫 57 國民としての常識…………… 928
全集74 家 庭	文化生活の基調…………… 929
家事 主婦より…………… 774	日常科學の話…………… 930
覺書 家事經濟讀本…………… 1369	新しき修養…………… 931
	哲學早わかり…………… 932
雜	藝術の話…………… 933
家庭 お話の種 下篇少年の部…………… 163	論理學早わかり…………… 934
學校 日本人の弓矢…………… 57	新聞を読む基礎知識…………… 935
少年 笑の爆彈…………… 357	宗教早わかり…………… 936
文學 日記から…………… 301	辭 典
教育 數太郎…………… 1272	自習全科辭典…………… 1698
小説 自然の國寶と日本人…………… 1366	
兒童文學…………… 286	



中等讀物

修 養			
修養二十講	72	進取論	132
青年 着手の個所	146	處世講話	140
人としての道	235	心の力	144
逸話の泉 第九編	509	青年の進路	157
恩師 訓話隨錄	18	教訓叢書 第二編 處世講話	202
立志立功	110	至誠と努力	206
精神 逸話の泉	137	國體の精髓	244
修養 第二編 教育道話	151	一喝録	253
通俗 ニコニコ處世法	182	ニコニコ論語	253
奮闘主義	250	修養經典	302
第三編 教育道話	263	安全第一	368
精神 逸話の泉 第三編	462	此所に道あり	401
修養 歐米の逸話	463	塵の倫理	410
徹底せよ	153	修養道歌日訓	419
無駄なき生活	252	有爲生活	425
人生是れ戰場	9	修養の極致 處世の秘訣 心機一轉	433
牛	168	原文對照 高杉東行詩文集	446
國民道德訓	193	新譯註解 建國史話	466
道家 修養芳譚	209	日日の論語	516
釋例 大典記念國民訓	214	我が往く處	531
哲窓茶話	271	わかき婦人の結婚と自覺	558
日本の精神	289	愛と生活と	597
遺言	515	思想の動き	1624
權威	775	悅樂	150
新常識論	67	恩賜の義脚	164
活修養	68	人生訓	179
道は近きにある	120	青年 訓話 自省訓	183
		家庭百話	187

修養實例	199	新譯自助論	991
立命 安心 順逆論	208	明治孝節錄	37
清澤先生の教訓	222	實踐 一日一善講話	260
大悟一番	251	早起	415
人生 悟りの道	300	佛さまのお話	426
自警	309	格言 修養百譚	483
慰安と修養	336	對照 男道	1213
恩師乃木院長	340	飛躍する才魂	1234
箆 笥	360	志士の片影	1235
變勇論	418	母と子	290
急がば廻れ	430	聲	308
話材教材	467	大正の青年と帝國の前途	313
一事貫行	468	良妻 内助の力	485
大失敗と大成功	499	物語 修養 明治兩陛下盛徳記	525
東西 臨終語録	548	寶鑑 花の下みち	526
偉人 教育者の思想と生活	555	歡喜第一編	527
一人の女	557	大國民の根底	649
和顔愛話	560	人生の行路	650
出發の準備	582	懺悔の生活	723
母様論	596	白熱	762
日蓮 主義 仁者必ず勇あり	608	妙音	763
婦人生活の改善	611	青年に訴ふ	842
内實の力	661	曙光	865
子供の心	662	婦人の務	866
天の聲人の聲	669	暢びゆく生命	1023
これからの處女のために 上卷	777	人生の旅行	1628
平和の心境	960	修省論	24
逸話の泉 第七・八編	495	強膽術	288
逸話の泉 第十・十一・十二編	522		
中學生の黄金生活	711	思 想	
立身の基礎	867	知を愛するもの一哲學	1044
		危險思想に面して	1026



生活より宗教へ..... 1328  
 人生雑感..... 133  
 タゴールの思想及宗教..... 175  
 女人創造..... 629  
 現實を直視して..... 683  
 近代の戀愛觀..... 817  
 國民の精神的基礎..... 498

**評 論**

つはもの..... 341  
 陸海軍人物論..... 255  
 世界露西亞の生活..... 355  
 大宰相ロイドヂョーチ..... 373  
 現代世界の史的觀察..... 489  
 心頭雜草..... 494  
 平民原敬と其周圍..... 529  
 ロシアの現實..... 530  
 横目で睨んだ人生..... 885  
 田園の文化..... 949  
 現代の日本論..... 1417  
 枳の落葉..... 200  
 昭和維新..... 1553

**童 話**

八つの夜..... 93  
 東西御伽訓話..... 143  
 佛教お伽噺..... 223  
 新作お伽學校..... 228  
 曉の小鳥..... 274  
 黄金の棒..... 396  
 ニコニコ双紙..... 457  
 物語第九編 母のふところ..... 797  
 白鳥の騎士..... 1128

こどものシエークスピア... 1166  
 こどものダンテ..... 1167  
 かちかち山續話..... 145  
 幼年百譚 お話の庫..... 291  
 Seiyô-monogatari ..... 236  
 アラビヤナイト..... 246  
 トルストイ民話集..... 287  
 お伽噺日本..... 295  
 イソツブ物語..... 297  
 黄金の獅子..... 563  
 お伽十五夜物語..... 402  
 イソツブ物語..... 406  
 蝗の大旅行..... 1279

**童 話**

赤彦童謡集..... 756

**國 漢**

藤村讀本 第一卷..... 1134  
 やまと心..... 116  
 課外の讀物..... 359  
 現代思想文選..... 951  
 小學選釋..... 1236  
 話方の經濟..... 1058

**作 文**

大正少年傑作文..... 263  
 同..... 304  
 綴方十二ヶ月..... 46  
 桂月學生文範..... 390  
 女子の作文の考へ方作り方及び文例..... 450  
 帆..... 1450  
 女子書簡文寶鑑..... 508

文章春秋..... 1224  
 現代書翰文選..... 1517

**文 學**

悲しき笛..... 535  
 曙 光..... 532  
 セーヌの流..... 148  
 歴史物語 血吹雪..... 158  
 春の日、曠野抄..... 1397  
 文藝の彼岸..... 1498  
 空町文學選集..... 1476  
 子規居士と余..... 154  
 漱石と私..... 411  
 日和下駄..... 213  
 武藏野と文學..... 374  
 お伽噺とお伽唄..... 413  
 英米文藝印象記..... 977  
 日本女流文學史..... 1524  
 幼きものに..... 351  
 小さい國文學史..... 1059  
 ホメロスとイリアド..... 1211  
 西洋文學史..... 1563

**小 説**

人形の望..... 94  
 少年斥候..... 267  
 ひなつばめ..... 399  
 少女物語 春の日..... 424  
 此の一弾..... 812  
 小さき人々..... 1095  
 次の一戦..... 56  
 アイヴァンホー..... 165  
 春浪快著集 第一卷..... 376

春浪快著集 第二卷..... 379  
 日の出づるまで..... 726  
 四少女..... 896  
 戦争中の隱家..... 35  
 間牒の最後..... 194  
 楠正成..... 272  
 新アラビヤナイト..... 282  
 名犬物語..... 307  
 涙の花籠..... 325  
 潜航艇 U二〇二號 實戰録..... 389  
 一五叢書..... 109  
 立志小説 故郷..... 169  
 明智光秀..... 243  
 僕等のおとつさん..... 139  
 中山大納言..... 259  
 クオヴァヂス..... 191  
 新しき命..... 320  
 文明の末路..... 372  
 新譯ロビンソン漂流記..... 403  
 屋根裏の二處女..... 614  
 友 情..... 616  
 それからの漱石の猫..... 617  
 奇妙な精神病者のはなし..... 843  
 お猿の番人になるまで..... 844  
 中學時代..... 864  
 鼠..... 1296  
 ポンペイ最後の日..... 166  
 シャーロツク・ホルムス..... 225  
 秘密の花園..... 404  
 科學小説 初めて月世界に行ける人..... 429  
 花物語..... 613



珍太郎日記……………	702	西洋見物お土産話……………	771
紅子の死……………	937	へちまのかは……………	20
花物語……………	950	折にふれ……………	33
良つちやんの紐育……………	1001	吐雲録……………	43
久遠のかたみ……………	1326	冷汗記……………	296
日本児童 文庫 31 西洋少年少女小説集……………	1504	海の嘯き……………	375
お、玉杯に花うけて……………	1597	心のあと……………	735
則天武后……………	1027	からたちの實……………	1528
太平洋戦争……………	1083	筆のまにまに……………	162
みつけもの……………	1200	歐洲文壇印象記……………	241
都に憧れて……………	721	趣味の文から……………	484
<b>戯 曲</b>		新茶話……………	538
杏手鳥孤城落月……………	317	鬪 牛……………	554
カチカチ山と花咲爺……………	400	林檎の味……………	626
法 難……………	606	佛蘭西印象記……………	727
あんぽんたん……………	648	冬彦集……………	852
海外 名作 戯曲讀本 卷參近代上篇……………	1298	甲鳥園隨筆……………	909
<b>詩 歌</b>		文 鳥……………	948
詩 集 旅 人……………	329	青嵐隨筆……………	985
ふるさと……………	427	藤村隨筆集……………	989
國語 資料 現代詩鑑賞……………	1458	子規隨筆集……………	992
巴里小曲集……………	1162	旅ゆく一人……………	1137
麥 笛……………	579	太陽は草の香がする……………	1265
詩と 童謡 お茶の水から……………	845	影は夢見る……………	1629
悲しき微笑……………	927	半農生活……………	344
詩の味ひ方……………	1114	女學校時代……………	700
詩の鑑賞……………	1318	朝の散歩……………	1025
<b>隨 筆</b>		靜 感……………	203
目と耳と口……………	234	沼のほとり……………	1074
十八 十色 名物男……………	261	桂月隨筆集……………	1100
		自然から人生へ……………	1242

春歸る……………	1424	考古 小説 三千年前……………	347
文壇觀測……………	1455	歴史 物語 血戦記……………	356
<b>紀 行</b>		校訂 少年日露戦史……………	19
霧の王國へ……………	277	人の運……………	1
冒險 實譚 北極から南極へ……………	794	屍の中より……………	561
ぼくの旅……………	135	獨探日記……………	104
杖の跡……………	326	處女の王國……………	1393
死の蔭に……………	339	漫畫展覽會……………	701
世界のぞ記……………	581	懷舊錄……………	1456
日本式に世界を歩く……………	1457	空の戦……………	409
椰子の葉蔭……………	155	釋迦基督その他……………	1420
露西亞紀行……………	319	北米遊説記……………	1454
山陽行脚附東海道行脚……………	377	ほまれの十字軍……………	1516
足掛四年……………	378	<b>物 語</b>	
趣味 の旅 南都と西京……………	609	成功 實例 出世物語……………	11
山東通路……………	152	少年 物語 ナポレオン……………	12
西京去留誌……………	188	ホーマー物語……………	63
趣味 の旅 古跡めぐり……………	545	日本刀……………	76
聖地巡禮……………	605	小船長……………	83
戦後 歐米見聞録……………	625	新約物語……………	447
わたり鳥の記……………	776	面白くて 訓になる 西洋の小話……………	998
愛兒の ために 歐米を訪ねて……………	1139	シェイクスピアとリヤ王物語……………	1093
西洋又南洋……………	1153	パンを求めて二千露里……………	1413
伊太利 みやげ 美術をたづねて……………	1606	少年飛行家物語……………	1568
熊の嘯……………	227	手負の鴨……………	88
<b>讀 物</b>		賢母物語……………	180
話方十二ヶ月……………	460	近世偉人物語……………	748
小學生 全集 32 極地探検記……………	1447	小女美談……………	698
元祿四十七士……………	53	ゾグネル物語……………	330
名將回顧録……………	564	新 體 平家物語……………	1622
愛の學校クオレ物語……………	1451		



天保物語	34	傑人佳人	270
傳説のライン	623	巨人南洲	298
人肉の裁判	876	天龍翁金原明善	331
珍談逸話の逸話	908	忠臣と孝子	338
海南小記	1028	つはもの	341
講 談			
久米の平内	232	黒偉人ブツカーワシントン傳	505
曾我兄弟	293	アツシジの聖クララ	734
戰國武士	342	山中鹿之助	3
水戸黄門中編	364	東照公傳	130
水戸黄門後編	386	日蓮上人	221
仇討十種	1002	新井白石	333
講談日本外史三	1029	世界三十偉人錄	455
傳 記			
シェイクスピアとリヤ王物語	1093	建國史話	466
ナポレオン物語	893	夜の海	627
大西郷秘史	7	大帝奈翁 第一卷	113
詩傳乃木將軍	219	北方の流星王	224
徳川家康言行錄	226	國聖としての日蓮上人	149
楠正成	272	法華魂	358
名士立志傳	334	世界の電氣王上卷	451
近世偉人物語	479	自然ルソー	482
男の中の男	161	世界改造の人人	610
山岡鐵舟	266	伊藤仁齋と其の教育	624
佐久間象山	278	ムツソリニ傳	1542
世界的人物	294	若尾逸平	54
奮闘立志傳	28	岡本米藏	264
大鳥圭介	117	西郷隆盛	1099
後藤象二郎	118	大地に立つ	1214
偉人渡邊華山	136	西郷南洲先生	1255
十人十色 名物男	261	名士の青年時代	1365
		政治家としての桂公	16
		源九郎義經	38

西郷南洲	41	大石内藏之助	40
小泉八雲	31	三國同盟と三國協商	35
七婦人	506	大勢史眼	131
ナイチンゲイル物語	507	ピット	174
リンコルン	523	栗山大膳	189
大正新立志傳	722	歐洲動亂史論	205
大正青年立案案内	803	織田氏時代前編	481
大正婦人立志傳	804	ふらんす革命夜話	491
實力の人原さん	805	増補日本史蹟 上卷 中卷	659
人及教育家 パーマー夫人の生涯	828	人類物語	961
立志 青空を見つめて	1101	隨感 史傳史話	1063
美談		少年忠臣藏	456
歴 史			
家庭日本歴史	210	白虎隊	465
少年百講 歴史の庫	292	文明の誕生	983
國史美談 上卷	453	史蹟めぐり	497
國史美談 中卷	524	ペルシヤ	1115
内 歴史講壇上	32	西洋文明の搖籃 <small>ギリシヤ 民族の話</small>	1212
外 歴史講壇下	64	自學自習 趣味の西洋歴史 下卷	1259
少年古戰場物語	316	中等参考 明治大正の事蹟	1416
お伽 血 煙	13	人間生活史	95
楠公誠忠記	311	國史八面觀	218
歴史物語 織田信長	26	支那 黄河の水	1541
世界列強 大戦争實記	62	地 理	
オルレアン乙女	121	趣味の地理 世界の千山萬水	449
歴史物語 血吹雪	158	第二編 世界地理讀本	1620
狸爺家康	185	我が南洋	220
英雄史談	285	南洋	108
民族戦争	122	蒙古及滿洲	172
東洋史物語	1623	土耳其及土耳其人	123
偉人論	21	日用地文學の常識	1257
武士道の華	39	我が國土	25



巴奈馬運河見物……………	173	林檎の落つる音……………	125
世界に於ける自然の奇観……………	176	自然界と人間界……………	580
日本アルプスと秩父巡禮……………	7	最新知識 子供の聞きたがる話	
推理的日本地理上下……………	1280	電氣磁氣の巻……………	660
受験参考 学習指導 新しい日本地理……………	1575	人類進化の研究……………	156
薩摩と琉球……………	14	ラジウムとエツキス線……………	159
今日の印度……………	190	増訂 化學と人生……………	318
アマゾン探検記……………	201	海の自然科學……………	380
史蹟めぐり……………	497	科學新話 謎の自然界……………	439
生蕃の話……………	1215	通俗講話 電氣の世界……………	536
<b>數 學</b>		水……………	1394
初學者の爲めに 幾何學講話……………	1256	世界に於ける自然の奇観……………	176
中等一二年の代數……………	1264	生物哲學……………	273
數學史物語……………	1599	我が植物觀……………	537
受験界の代數……………	1396	たましひ……………	546
模範代數講義上下……………	1598	花鳥風月……………	268
<b>科 學(理科)</b>		子供の聞きたがる話天文地文の巻……………	641
宇宙物質太陽熱の話……………	907	簡易動物實驗手引……………	1574
星座めぐり……………	1496	理化學史物語……………	1600
地と人……………	742	魔術的物理實驗法……………	365
地震……………	898	趣味の動物……………	682
ラヂオと飛行機……………	981	太郎の化學……………	740
自然科學と精神科學……………	980	化學と人生……………	1148
近世科學の寶船……………	1000	中等教育 化學の眞髓……………	1453
東京日々 通俗講話 第一編……………	670	少年動物園……………	280
日用天文學の常識……………	1237	お伽蝶と花との對話……………	863
理科物語……………	142	理科 兒童の動物學……………	1082
子供の聞きたがる話 生理衛生の巻……………	680	動物の智慧……………	394
理科趣味の友……………	1161	受験界の新制物理……………	1395
發明家と發明界の進歩……………	249	人類の過去現在未來……………	51
世界奇聞知識の庫……………	464	趣味の植物春秋……………	1060

腦味噌……………	556	子供に作れる器械と模型……………	1586
生物學の不思議……………	395	エムデン秘史……………	349
動物界の挿話……………	480	名婦人の幼時……………	388
圖說 害蟲と益蟲……………	478	講演逸話集……………	138
蟲界の驚異……………	1478	旅から旅……………	181
<b>語 學</b>		墜落の日まで……………	195
英和對譯 こんこん狐ものがたり……………	1146	田園訓……………	211
同 青ひげさん外七篇……………	1147	十字路……………	242
英語夏休みの讀物……………	171	蹄 響……………	248
England Revisited……………	749	シベリアの少女……………	327
コドモの英語……………	1543	戦争と國民性……………	251
<b>音 樂</b>		射落されてから……………	438
赤い鳥 童謡第一集……………	584	兵兒の國……………	2
赤い鳥 童謡第二集……………	615	六十一年……………	6
野の幸……………	631	紐 育……………	29
子供の音樂……………	1233	佛蘭西及佛蘭西人……………	97
世界音樂家物語……………	1364	支那に於ける列強の競争……………	107
<b>體 育</b>		雁の叫び……………	124
學校體操の指導……………	1138	戰に使して……………	192
青年の競技 <small>トラック 篇</small> ……………	1173	獨逸從軍記……………	198
名選手の面影……………	1175	獨逸落ち……………	207
新制 陸上競技規則解説……………	1258	エムデンの奮戰……………	231
<b>家 庭</b>		征 空……………	254
露 草……………	784	獨逸戰前の眞相……………	281
母の教育……………	982	江田島生活……………	284
母の手藝……………	877	山の犠牲……………	305
文子の家事……………	22	世界大戰と日本の海運……………	314
女性美の研究……………	925	所澤より……………	391
我が兒の生ひ立ち 愛撫八年……………	353	英國風物談……………	407
<b>雜</b>		米國物語……………	414
家庭學校 お話の種下篇少年の部……………	163	小學生全集66 園藝と小家畜……………	I618



忙中隨感……………	65	東西 魂鏡	日本魂と獨逸魂……………	204
傳説の時代……………	66	軍國主義……………		215
獨逸及獨逸人……………	84	祖國を顧みて……………		216
平和の巴里……………	99	還元録……………		238
國民政治讀本……………	106	戰爭と巴里……………		257
生殖と戰爭……………	114	獨逸と東亞……………		269
素六主義……………	115	現代の亞米利加……………		321
無絃琴……………	147	話の種……………		369
をりをりぐさ……………	197	支那 物語	長江十年……………	371
列強の不要と野心……………	212	意外録……………		440
海のロマンス……………	8	印象記……………		443
伯林と巴里……………	58	白國の義戰……………		488
都會生活と村落生活……………	237	筆にまかせて……………		490
大戰に現れたる雄辯……………	310	安樂椅子……………		500
次の世界大戰……………	346	赤門だより……………		550
秋山海軍少將軍談……………	354	改造の歐洲より……………		628
大日本主義……………	445	日米若し戰はば……………		673
觀樹 將軍	豪快録……………	占の話……………		741
列強の領土的及經濟的發展……………	458	米國學生々恬……………		816
媾和條件の基礎をなせる ウキルソン氏の雄辯……………	504	未知の世界へ……………		897
赤門ちちら蟲……………	533	ワンダーフオゲル……………		978
向陵三年……………	547	農村と娛樂……………		4
戰爭の 讚美者	トライチユケ……………	白中黃記……………		10
歐洲文明の没落……………	59	通俗郵稅物語……………		240
世界大戰の中心人物……………	60	日露戰爭 話集	大戰餘響……………	345
ビスマルクとドイツ帝國の建設……………	61	海軍下士の生活……………		381
歐洲の傳説……………	91	海兵物語……………		405
東西武士道の比較……………	112	鐵道夜語……………		979
文明の世……………	141	日本國勢圖會……………		1421
豪俠傳……………	186	楠公禮讚……………		1477
		女學校を卒へて……………		1621

枯華微笑……………	129	も一つの鏡……………	1190	
南洋記……………	177	辭典		
大學出の兵隊さん……………	196	自學 自習	日本歴史辭典……………	1367
親の爲子の爲……………	350	昭和 公民辭典……………		1419
政戰餘業……………	841			



大人讀物

修 養		明治天皇御製集…………… 1352
英雄と修養…………… 17	結婚のしをり…………… 1357	
立志傳…………… 30	禁酒講話…………… 1577	
世の中…………… 46	聖書の人々…………… 1610	
向上論…………… 47	教 育	
靜思修養…………… 48	愛兒の躰と愛兒の教育…………… 559	
自修論…………… 49	母の讀本…………… 595	
通俗講話 國民性と宗教…………… 50	子供のおもちや教育…………… 612	
金の世の中…………… 518	新エミール…………… 618	
法 幢…………… 527	どうして小兒を育てるか…………… 619	
平和の青年…………… 551	少年の思想と生活…………… 878	
改造されたる婦人訓…………… 592	子供を賢くする爲めに…………… 889	
茶 味…………… 630	歐米學校印象記…………… 918	
歡 喜 第二卷…………… 664	家庭教育…………… 968	
法悦の一境…………… 667	性教育を主として 現代婦人への直言…………… 1032	
家庭に於ける新婦人…………… 712	母の教育學…………… 1066	
一石工の信仰…………… 779	婦人の力と帝國の將來…………… 1105	
自由人となるまで…………… 791	教育教授の没落…………… 1130	
國民自覺論…………… 854	家庭並學校 早教育の理論と實際…………… 1194	
體驗生活…………… 868	に於ける 我子の職業…………… 1218	
光明祈願にそへて…………… 871	幼稚園雜草…………… 1225	
研心錄…………… 953	生活深化の眞教育…………… 1244	
實業道德講話…………… 957	愛兒 生誕より十五年まで…………… 1263	
婦人と新社會の建設…………… 1048	衛生 西洋倫理學史 古代中世…………… 1282	
世界の格言と警句…………… 1077	倫理的價值とその對象…………… 1310	
母の愛…………… 1086	ベスタロツチに復れ…………… 1356	
女子修養 婦女のかぐみ…………… 1184	金錢の教育…………… 1378	
昭和一新論…………… 1302	形態說による 新教育論…………… 1531	

幼稚園ばなし…………… 1532	孔子とその徒…………… 837	
先生と お父さんお母さん…………… 1550	エレン テイ著 戀愛と道德…………… 857	
中等 現代作法…………… 1551	超 克…………… 891	
教育 健兒之社…………… 1555	日本精神の研究…………… 901	
全人格的生活と修身教授の諸相…………… 1566	文明の没落…………… 920	
思 想		
國民の子…………… 498	永久平和論…………… 922	
世界文明の新紀元…………… 510	老子をして今日に在らしめなば…………… 1004	
激動の中を行く…………… 549	人生を斯く考へる…………… 1078	
労働問題講話…………… 568	日本主義…………… 1164	
戀愛の社會的意義…………… 602	新しき時代とは何か…………… 1197	
若き男女へ…………… 671	日本はどうなる…………… 1261	
婦人に味方して…………… 685	古代純日本思想…………… 1353	
社會の動搖と精神的覺醒…………… 689	亞細亞主義…………… 1354	
平易なる皇室論…………… 693	光は東より…………… 1355	
若き婦人の思想生活…………… 694	平等思想の社會學的考察…………… 1359	
大國難に面して…………… 703	支那道德文化史 第一卷…………… 1400	
獨立者の宣言…………… 715	夏目さんの人及び思想…………… 1552	
兩性問題大觀…………… 716	國體に對する疑惑…………… 1603	
私どもの主張…………… 717	日本改造の具體案…………… 1605	
動搖と不安…………… 738	日本國民に與ふ…………… 1608	
賀川豊彦、西田 天香、倉田百三 と其信仰…………… 752	黒潮に聽く…………… 1611	
現代日本と國家創作…………… 765	哲 學	
死生の境に發揮されたる	新學說 時間と自由意志…………… 1003	
日本國民性…………… 781	大系 改釋の哲學…………… 1070	
藝術より生活へ…………… 785	大自然と人…………… 1216	
愛の純一性…………… 810	最究竟者…………… 1501	
婦人問題講演集 第八輯…………… 820	義務と制裁なき道德…………… 1567	
或る百姓の家…………… 824	西洋哲學物語…………… 1626	
婦人問題講演集 第九輯…………… 832	社 會	
裝飾の遠慮…………… 836	改造の叫び…………… 570	
	日本労働問題…………… 587	



労働問題の眞髓…………… 593  
 改造途上の歐米社會見物…………… 637  
 改造の歐米より…………… 639  
 軍備制限と日米關係…………… 736  
 改造の獨逸より…………… 764  
 少年職業選擇と其の指導…………… 811  
 新興諸國の現状…………… 823  
 文化生活…………… 853  
 女中奉行と女工生活…………… 856  
 女性の黎明…………… 859  
 婦人の服従…………… 884  
 兒童社會史…………… 962  
 KKKに就て…………… 995  
 民衆娛樂…………… 996  
 婦人向上の史的考察…………… 1227  
 今日の問題…………… 1323  
 現代の作法…………… 1399  
 結婚論…………… 1408  
 デンマルク…………… 1554  
 サラリマン物語…………… 1582  
 デンマークの農村生活…………… 1627

**童 話**  
 ろしあ童話集…………… 561  
 自然界のおとぎばなし…………… 964  
 童話童謡及音樂と舞踊…………… 1007

**童 謡**  
 童謡の作り方と味ひ方…………… 1401

**國 語**  
 國語讀本の詩の味ひ方…………… 940  
 古事記全釋…………… 1107  
 實演お話集…………… 1245

國語の愛護…………… 1602  
 金槐集評釋…………… 1426  
 國文學の哲學的研究…………… 1487

**文 學**  
 文藝思潮論…………… 36  
 小泉先生そのほか…………… 511  
 幸福者…………… 572  
 文藝往來…………… 633  
 象牙の塔を出て…………… 644  
 英文學印象記…………… 896  
 世界童話研究…………… 965  
 明治文學十二講…………… 1035  
 世界文學思潮…………… 1047  
 詩歌の道…………… 1084  
 芭蕉論…………… 1106  
 英國近代劇精髓…………… 1119  
 愛蘭ファウスト物語…………… 1152  
 ミルトン失樂園物語…………… 1181  
 文藝東西南北…………… 1182  
 文學論…………… 1192  
 文學論…………… 1304  
 大正文學十四講…………… 1243  
 文學評論…………… 1266  
 文學概論…………… 1287  
 文學概論…………… 1321  
 トルストイ遺稿 愛の書簡…………… 1307  
 英文學を如何に讀むか…………… 1403  
 岩波文庫 65 櫻の園…………… 1404  
 藝術の東洋主義…………… 1407  
 湖南の扇…………… 1409  
 掌上の石…………… 1484

**小 説**  
 地上地にひそむもの…………… 541  
 第一卷 都に憧れて…………… 721  
 地の果まで…………… 663  
 日 曜…………… 666  
 眞珠夫人 前篇・後篇…………… 674  
 環 境…………… 675  
 荒 絹…………… 687  
 女…………… 728  
 復 活…………… 737  
 白蓮紅蓮 前篇・後篇…………… 767  
 大菩薩峠 第一册…………… 782  
 銀の匙…………… 786  
 九官鳥…………… 790  
 英譯 恩讐の彼方に (英文)…………… 733  
 ワンワン物語…………… 819  
 叛逆の息子は語る…………… 870  
 白路を見つめて…………… 879  
 啓吉物語…………… 889  
 聖母の畫像…………… 890  
 貞 操…………… 941  
 老人形師と彼れの妻…………… 944  
 象やの久米さん…………… 956  
 新夫婦日記…………… 993  
 曉 鐘…………… 1014  
 歐羅巴の滅亡…………… 1034  
 二つの指環…………… 1050  
 秋刀魚先生…………… 1064  
 かなしき女王…………… 1068  
 アンネツトとシルギイ…………… 1069  
 炬を翳す人々…………… 1089

山寒し…………… 1102  
 聖者あらたに生る…………… 1180  
 氷る舞踏場…………… 1221  
 歡迎されぬ男…………… 1222  
 イブンヂエリン…………… 1297  
 春は馬車に乗つて…………… 1331  
 御堂殿の子…………… 1332  
 山科の記憶…………… 1377  
 うるさき人々…………… 1544  
 寡婦マルタ…………… 1546  
 鴉…………… 1549  
 赦し得ぬ惱み…………… 1565  
 南京の皿…………… 1604

**戯 曲**  
 じやじや馬馴らし…………… 676  
 人と超人…………… 684  
 十二夜…………… 708  
 坂崎出羽守…………… 730  
 七年の後…………… 766  
 見果てぬ夢…………… 966  
 錢屋五兵衛父子…………… 1031  
 熱海ベーヂェント…………… 1075  
 戯曲水調集…………… 1108  
 叛逆時代の將門…………… 1141  
 心ごころ…………… 1165  
 江戸城總攻め…………… 1220  
 森有禮…………… 1240  
 阿國出世…………… 1330  
 大鹽平八郎…………… 1336  
 明君行狀記…………… 1370  
 日本戯曲集…………… 1373



江戸子の死……………	1375	或魂の發展……………	925
岩波文庫 80 令嬢ユリエ……………	1405	叛逆の藝術家……………	955
パンヤ文六の思案……………	1459	二重生活……………	963
西郷と大久保……………	1483	先驅者の言葉……………	984
空氣饅頭……………	1500	思想山水人物……………	987
兒童劇の創作と演出……………	1580	獨歩隨筆……………	997
キリスト……………	1601	永遠への理想……………	1013
戯曲 落葉日記……………	1631	黒煉瓦の家……………	1015
隨 筆		詭辯勸辯……………	1017
東西英雄一夕話……………	502	作者の感想……………	1030
悲痛三年……………	542	春を待ちつゝ……………	1033
三角の眼……………	556	隨筆 隣人閑語……………	1036
第一步……………	634	綠草心理……………	1036
春宵綺語……………	635	一茶と良寛と芭蕉……………	1116
洋行茶話……………	638	さびしきまゝに……………	1117
亞米利加記念帖……………	642	關雪隨筆……………	1118
武藏野の草と人……………	651	文壇隨筆……………	1120
超然錄……………	665	新聞に入りて……………	1131
私の電車觀及汽車觀……………	705	感想集 生ける風景……………	1132
人間禮拜……………	706	一日一文……………	1142
舞踏會の夜……………	744	落葉と語る……………	1151
麥の丘……………	758	凡人崇拜……………	1155
バクダン……………	806	藝苑往來……………	1163
蛙の聲……………	818	途 上……………	1178
塵 勞……………	821	ひ げ……………	1179
世界に聴く……………	822	泣菫文集……………	1195
異端者の對話……………	834	猿の群から共和國まで……………	1223
藪柑子集……………	846	新聞そのをりをり……………	1226
未亡人論……………	848	異國の華を尋ねて……………	1238
無用の書子の巻……………	858	退屈讀本……………	1260
愛の創作……………	869	うめ・うま・うぐひす……………	1284

世界放心遊記……………	1285	日本から日本へ……………	719
壇上紙上街上人……………	1299	黒龍の流れ……………	787
弗でない男……………	1306	ぐうたら道中記……………	830
啄木隨筆選集……………	1325	朝鮮 支那のぞき……………	835
藝術の圓光……………	1357	滿洲 婦人の眼に映じたる世界の	
一茶隨筆選集……………	1374	新潮流……………	849
庭を造る人……………	1410	南歐遊記……………	881
無憂華……………	1425	世界一週の繪手紙 上卷……………	911
蛙の放送……………	1518	滿鮮行樂……………	967
皮と肉……………	1522	教育 歐山米水……………	1219
論・想・談……………	1523	行脚 繪の旅から……………	1239
隨筆 隨筆……………	1527	海の彼方を……………	1286
千年樞の下にて……………	1547	埃及紀行……………	1479
藁屋と花……………	1578	一哲學者の世界遊記……………	1497
候蟲時鳥……………	1579	ナボリの浮浪兒……………	1499
毛斷害有……………	1607	支那行脚記……………	1525
詩 歌		フレツプトリツプ……………	1564
和歌百話……………	492	雪國の春……………	1576
愛の詩集……………	645	傳 記	
人間往來……………	1103	ナイチンゲール物語……………	507
俳句の考へ方と作り方……………	1301	野聖桃水……………	704
自選校歌會歌集……………	1303	デラムエル・ブース……………	713
泰西名詩の味ひ方……………	1480	大隈侯一言一行……………	778
兒童自由詩鑑賞……………	1481	永遠の アンデアゼン……………	1085
短歌は如何にして作るか……………	1609	こども 乃木靜子……………	1300
紀 行		日本一の百姓となるまで……………	1322
歐米 都市 とびとび遊記……………	45	生の戦線……………	1329
泉聲錄……………	493	日本の婦人……………	1376
戰時 行脚 青い赤毛布……………	543	町人諭吉……………	1402
佛蹟巡禮行……………	636	ベスタロツチに アンナ……………	1557
洋行赤毛布……………	695	ふきはしき妻……………	1625
		ムツソーリニとそのファシズム……………	



**評 論**

秀吉と家康…………… 486

媾和會議を目撃して…………… 562

立言十一章國政夜話…………… 571

山上の展望…………… 729

米國々民性と日米關係の將來… 789

心の跡…………… 829

雷鳥の眼醒むる前…………… 847

社會と人生…………… 921

子孫崇拜論…………… 952

バルザック…………… 954

反逆の息子…………… 986

私達の問題…………… 1045

大阪 評壇…………… 1046

皇室と社會問題…………… 1104

皇室と國民…………… 1581

**歴 史**

通俗 世界大戰史 上卷…………… 501

ツタンカーメンの生涯と時代… 938

日本女性史論…………… 1038

日本文明史…………… 1150

琉球古今記…………… 1262

エジプトの藝術…………… 1320

支那 帝代 帝王年表…………… 1480

石田三成を中心に…………… 1526

**地 理**

世界の終り…………… 882

滿蒙都邑全誌…………… 1290

樺太土人の生活…………… 1121

太平洋民族…………… 1133

生蕃記…………… 1176

日本民族の將來…………… 1371

**數 學**

文檢數學科問題と手引…………… 1217

**科 學**

生物界の神祕…………… 586

驚異の科學…………… 751

通俗 解説 アインシュタイン要約…………… 808

子供の科學 活動寫眞の卷…………… 880

叢書第三卷 蟲…………… 1183

自然と科學…………… 1185

日用理科常識…………… 1199

科學 天體美觀…………… 1305

世界 鳥獸蟲魚…………… 1422

人及び人の力…………… 1498

火…………… 1545

驚異と神祕の生物界…………… 1556

**衛 生**

兒童の性と榮養…………… 1006

學校 醫者に往くまで…………… 1062

家庭 住居の衛生…………… 1630

**音 樂・舞 踊**

日本音樂の聽き方…………… 988

童話童謡及音樂舞踊…………… 1007

小唄研究…………… 1140

ピアノの知識…………… 1241

舞踊の本質とその練習法…………… 1360

**政 治**

政治一新論…………… 686

軍備制限論…………… 718

三黨首領…………… 743

歐米議會見聞記…………… 1177

太平洋問題…………… 1520

太平洋時代來る…………… 1583

ムツソリーニとそのファシズム 1625

**法 律**

我國の陪審法…………… 855

法律小話…………… 1065

法窓閑話…………… 1076

普選講座…………… 1358

民法讀本…………… 1368

**經 濟**

國際資本戰…………… 1061

能率讀本…………… 1191

世界銀行史談…………… 1288

ヘンリ・フォード…………… 1521

**軍 事**

教育 資料 國防と海軍の知識…………… 1067

**宗 教**

信仰の悦び…………… 688

原始時代の宗教とその藝術…………… 924

**體 育**

若返り健康…………… 714

オリムピック 陸上競技法…………… 851

オリンピックへの旅…………… 910

市民體育資料…………… 994

オリンピックの印象…………… 1149

運動心理…………… 1186

**趣 味**

古寺巡禮…………… 540

支那趣味の話…………… 1008

魚の味…………… 1049

四季の趣味…………… 1154

趣味の五分間講座…………… 1016

江戸傳説…………… 1196

登山の話…………… 1198

**家 庭**

家事 覺書 主婦より…………… 774

愛兒の躰と愛兒の教育…………… 559

生活を藝術として…………… 757

子供の權利…………… 780

家庭の覺醒…………… 788

家庭 夜話 女として母として…………… 809

文化婦人の生活…………… 873

報德 主義 幸福な家庭の經營…………… 1423

家延 學校 英才教育 (應用及實際)…………… 1460

兒童教養の考へ方…………… 1461

學校と家庭…………… 1519

四季の料理…………… 1548

**雜**

大隈伯昔日譚…………… 15

國民性の上鏡の話 附 御即位と鏡… 23

より觀たる鏡の話 録

船と人…………… 96

世界 歷史 祕密の暴露…………… 103

漫畫 漫筆 極樂めぐり…………… 517

百姓道…………… 519

獨言對話…………… 520

露國大革命記…………… 569

教員物語…………… 585

ロシヤ 秘 話 闇を行く人…………… 590

奇話 哀話…………… 591

爐邊 叢書 赤子塚の話…………… 598

同 おとら狐の話…………… 599

同 奥州のザシキワランの話… 600



爐邊叢書 神を助けた話.....	601	彌次喜多再興.....	1088
僕には娶る妻がない.....	632	ラジオ講演集.....	1156
改造の歐來より.....	639	魚雷の脊に跨りて.....	1228
薔薇香.....	643	龍姿蛇姿.....	1308
へぼ胡瓜.....	911	人の一生.....	1324
次の戦争.....	807	愛ちやん.....	1325
妖怪學講義.....	831	高島米峰氏大演説集.....	1333
反省と憧憬.....	850	半峰昔ばなし.....	1482
犯罪と探偵.....	872	.....書誌.....	
東京震災記.....	919	典籍叢談.....	1087
科學探偵.....	939	圖書館經營の理論及實際.....	1291
今日の常識.....	1005		

教育書

藝術教育.....	833	讀方心理學.....	1463
教育と道德.....	900	綴方教授の根本問題.....	1464
天職の假面に悩む 先生物語.....	923	現代算術教育の諸相.....	1465
數學教育の革新.....	1289	内外鑛物圖説.....	1466
國民教育の諸問題.....	1309	獨創教育十論.....	1467
例話中心 尋一修身教授の實際... 細目兼用.....	1336	低學年教材のやさしいお話と 遊戯の取扱.....	1485
各科教育の實際.....	1361	最新教育教授の理論及實際.....	1585
倫理學概論.....	1379	明治國民教育史.....	1612
純粹教育學概論.....	1380	最近文檢東西教育全史 上.....	1613
ラック クラック 初等數學の基礎.....	1381	態度馴致の讀方教育.....	1632
婦人と家族制度.....	1406	個性教育の原理と方法.....	1633
體驗主義 新理科教授法.....	1462		



## 編者の言葉

この優良圖書一覽を編輯したものゝ立場から、仕事の経過並に本書を利用せらるゝ方々の参考となるべき事柄に就いて數言を述べさして貰ひたい。私どもが委囑を受けてこの仕事に着手したのは、今から約一年前のことで、當時、實はなに造作もないことと早合點し、一二個月の間に完成するといふ勢であつたのであるが、いよいよ取掛つて見ると決してそんな生やさしいものでない。材料は勿論殆ど全部が保存されて居たので苦勞なく手にはしたものゝ、段々これを整理して居るうちに色々の問題に突當る、毎週一回づゝ會合し、意見を闘はしては方針を定め一々原稿に手を加へる、その原稿は多年の間、幾十人もの手によつて出来たものだから、これを一書の内容として餘り不統一なものでないやうにせねばならぬ、かと言つて原文の精神、氣分も飽くまで尊重して尙くも改惡の譏りを受けぬやうに氣を付けねばならず、それが爲にむしろはじめから稿を起すよりも實は餘計な苦勞をした。かくて遂に豫想の三四倍もの日月を費し、どうやら出来上りはしたが、苦勞の多かつただけ、それだけ餘分にまづい出来榮えであることを、先づ以て我等の先輩たりし委員諸氏、廣くは茗溪會の方々、更に一般利用者諸君に詫びなければならぬ。

書名を「優良圖書一覽」としたのは、勿論羊頭狗肉の惡動機からでないけれども、しかし日本に於ける總べての刊行圖書中の簡拔精選であるといふ意味からでもない。月々何百部、否最近では一年に二萬部近くも公刊される讀物を、一々購求し、調査し、推薦し、批評する事は、いか



なる機關を以てするも容易になし得ないことで、こゝに纏めたのは、茗溪會がその經費の範圍に於て手に入れ、その精力の限度に於て選擇した分にすぎぬ。だから勿論不幸にして我等の視野を外れた優良圖書も外に澤山あるに違ひない。

批評文の文體は既に述べた事情で思ひ切つた訂正をされ得なかつた爲に、かなり不統一である。殊に最初のうちは文語體で、後に口語體になつたのを其の儘にして置いたことなど、無責任だとの批難を免れないであらう。けれども實はその不統一も、讀物調査會に席を置く我等の立場からすれば、我が會の歴史を語る材料に思はれて、無理な劃一の繩を張り得なかつた次第である。利用者諸君も必ずやこの衷情は汲んで下さるであらう。

書名の取扱については随分困つた。サブタイトルは全然採らないが、それに似た文句を頂いた長い題目のもの、叢書物に於ける個々書目の題名等に於て、利用者諸君も索引上しばしばお困りのことがあらうと思ふ。これ等は學術的に、大して脱線せぬ限りすべて便宜主義に據つた積りである。

索引の形式もはじめは程度分け、種類分け、書名分け、著者分け、等幾つも擧げることの計畫をしたが、紙數に制限せられて極度に切詰め、御覽の通りだけしか出來ずじまつた。少い上に體裁もまづいのは返す返す遺憾、何れ諸君の忌憚なき御忠告に接した上、適當の機會に改訂したいと思ふ。

各書目の上に附した番號には大した意味がない。茗溪會書庫の函架番號を便宜上かゝげた迄で、本書收むるものは、一千六百三十三部、大正

二年以後約十五箇年百四十五回會合調査の所産である。

採擇した圖書中絶版となつたもの、定價、發行所等の變つたものが多からうと思ふが、一々之を示すことが出來なかつた。特に震災以前のは、大多數變更あるとは御承知願ひ度い。

調査に用ひた圖書は大部分購入したものだが、中には自發的に書肆、著者その他の關係者から寄附されたものもある。推薦上絶対に情實なきを期するため、購入本位として居るが、此の趣意を諒承せらるゝ向の寄贈は、敢て拒まぬのみならず、今後とも發行書肆とますます積極的に廉潔なる交渉をつゞけて行きたい考である。

茗溪會の讀物調査は、はじめ少年書類だけに範圍を限つて世に發表した。然しその後一般通俗圖書にも手を伸し、更に最近教育圖書をも加へて居る。採擇書目の配合を二つに分け、少年書類時代、讀物調査時代としたのは、その沿革を語るものである。

調査推薦の方法及び態度に關しては、敢て發表する限りでないが、我等は少くともこの事業を以て、時代の要求に先んじて學校教育上、社會教育上相當の貢獻をなし來つたと信じて居る。かるが故に選定は飽くまで嚴正を期し、教育的見地から考へて、教師、父母、並に少青年への懇篤なる伴侶たらんが爲、調査委員一同が公務以外の餘力を傾到しつゝ過去十數年をつゞけた。但し新刊書を速かに批評し紹介するの必要に追はれた結果、永久的の眞價を定むる上にはおのづから不備なるものがあつたことを自認する。この點偏に著者出版者並に利用者諸君の寛恕を乞ふ次第である。

昭和出版社主人は茗溪會の此の企に賛し、本書出版上の責任一切を引



文檢試験委員理學士故 西村万壽先生 共著 (改訂四版即製本)  
縣立千葉高等女學校長 高野松次郎先生

# 新刊 改訂 最新地理實習

△菊判總クローズ製  
△紙數二一〇餘頁  
△定價金貳圓參拾錢  
△郵税金十八錢

◎本書は文檢地理科をパスせる總ての人が必讀せる  
現代地理の羅針盤にして文檢地理科の安全通券たり

本書は著者多年ノ研究ニヨリ豊富ナル知識ト最新ノ學說ニヨリ地理教授ヲ革新スベキ實習法ヲ模型、地圖、圖表、地文、人文、研究法等ノ六章二十五節ニ別テ詳細ニ説明圖解セラレタルモノナリ、殊ニ其附録ニ小學校及中學校ノ地理科基礎教授要目ト實習要目ヲ對比列舉セラレタルハ地理教授唯一ノ參考資料タリ故ニ本書ハ多大ノ好評ヲ博シ、中小學校教師諸君並ニ文部省檢定試験受験者諸君ノ一大歡迎ヲ受クルニ至レリ。

學術標本  
模型は

土屋商店  
標本部へ

博物學標本模型目錄 郵券四枚封入の事  
地理歴史標本模型目錄 郵券二枚封入の事  
商品學標本模型目錄 同  
家事科標本模型目錄 同  
(郵券對入御申越學校へ進呈す)

發行所 本郷區湯島六丁目三番地 土屋商店 振替口座東京三七八五番

受け甚だ冒險な試みを遂行されたのは感謝の至りである。又これまで有益な圖書を茗溪會に寄贈せられた著者發行者、その他の諸氏に對してもこの際深く謝意を表する。最後に一般社會への希望を言はして頂くなら、茗溪會は毎月かゝる讀物を調査採擇して居り、その印刷物も毎月無代(送料を要す)で配布して居るから、是非大にこれを利用して欲しい。やがて本書も數年の後には續編を公刊するに至るであらう。その時今回の失敗を再びせぬやう、今から私共は心掛けて居る。

昭和三年十一月三日

識者編







行發館文寶

比較教育	東京高師教授 樋口長市著 定二・八〇
教育的心理學綱要	文學博士 榎崎淺太郎著 上三・五〇 下二・〇〇 各送・二二
輓教(後の教育學概論)	廣島高師教授 佐藤熊治郎著 定一・六〇
教育學概論	佐藤熊治郎著 送〇・〇八
批判的教育學の問題	東北帝大教授 篠原助市著 定三・五〇
純粹教育學の理念	文學士 大關増次郎著 送〇・一〇
文化と自然科學	理學士 石原初太郎著 定二・三〇
化學と人生	理學博士 龜高德平著 定五・八〇
簡明學修辭典	高野辰之監修 送〇・〇八
和英大辭典	竹原常太著 定一〇・〇〇 送特八・〇〇
大漢和辭典	文學博士 服部宇之吉著 定三・八〇 送〇・二二
訂改醫師の權利義務	法學博士 市村光惠著 定四・五〇 送〇・一八
日本人に適する衣食住	中山忠直著 定二・五〇 送〇・二二
漢方醫學の新研究	中山忠直著 送〇・二二
改訂法學通論	法學博士 織田萬著 定四・四〇 送〇・一八
會計學實務	油谷十二共著 卷一三・五〇 卷二二・五〇 卷三三・八〇 各送〇・一八
改修日本大歴史	文學士 青木武助著 上各五・五〇 下各〇・一八
孝の研究	服部一二著 定二・〇〇 送〇・〇八
文明の推移と新教育	西本三十二著 定一・五〇 送〇・〇八
自己發見	第一回國際勞動代 榎本卯平著 定二・五〇 送〇・二二
富士山の自然界	山梨縣編纂 定一・五〇 送〇・〇八
日本アルプス	八愛場秋文著 定二・〇〇 送特一・一八

町銀本橋本日京東 〇八二京東替振  
堀波阿區西市阪大 館文寶 三四阪大替振

刊新最

東北帝國大學教授 山田孝雄著	萬葉集講義卷第一	菊判布製 定價金三圓五十錢 送料金十八錢	
著者は國學界の宿者今萬葉の講義を全にさる。その造詣の深遠なる研究の遺源なる未だかつて見ざるところ、然も懇切なる詳解と共に難解疑問の點を明示し、斯界研究者の好指導である。そも萬葉は我國最大の文華其の壯麗も優婉典雅實に世界の古典である。然し萬葉集を眞に解する人少く、古往に遡るもその全釋は僅五指を屈するに足らず今本講義の出現は我國文學史上特筆すべき壯舉と云ふべきである。	近世に於ける「我」の自覺史	文學博士 朝永三十郎著 定三・五〇 送〇・二六	
敬語法の研究	山田孝雄著 定三・八〇 送〇・二二	現代の獨逸哲學	モク著 定五・五〇 送〇・一八
敬語法の研究	山田孝雄著 定三・八〇 送〇・二二	純粹心理學考	文學博士 榎崎淺太郎著 定二・三〇 送〇・二二
校平家物語	山田孝雄 武共著 定二・五〇 送〇・一八	秀才の心理と其教育	西本三十二著 定二・八〇 送〇・二二
日本國民思想史	文學博士 清原貞雄著 定五・五〇 送〇・一八	倫理學要義	文學博士 吉田靜致著 定四・八〇 送〇・一八
日本國民自覺史	文學士 伊藤千眞三著 定二・八〇 送〇・一八	倫理學演義	文學博士 吉田靜致著 定六・五〇 送〇・二四
史學研究錄	中村勝麻呂著 定二・五〇 送〇・二二	道德の原理	文學博士 吉田靜致著 定三・八〇 送〇・二二
故事熟語大辭典	池田四郎次郎著 (縮刷版) 定七・〇〇 特六・〇〇 送〇・二四	訂增哲學辭典	文學博士 朝永三十郎著 定三・五〇 送〇・二二

町銀本橋本日京東 〇八二京東替振  
堀波阿區西市阪大 館文寶 三四阪大替振



◆書考參育教・考參檢文◆

濱野宮之助著	濱野宮之助著	高橋 勇著	高橋 勇著	浦木金太郎著	大杉謹一著	佐々木幹夫著	岩田、山北、共著	入澤宗壽補著	山崎博著	苦瓜、村田、守屋合著	櫻葉 勇著	守層貫 秀著	守層貫 秀著	大谷武 將著	酒井 一著	松本喜一著
文檢中心	文檢中心	文檢中心	文檢中心	文檢中心	文檢中心	文檢中心	文檢中心	文檢中心	文檢中心	文檢中心	文檢中心	文檢中心	文檢中心	文檢中心	文檢中心	文檢中心
法制經濟精義	修身科精義	教育學精義	教育史精義	心理學及論理學精義	教育大意綱要	系統的國文學概論	趣味の講話集	日本文化教育學	低學年の國語教育	新綴方教育	綴方教育の辿るべき道	趣味の遊戯	趣味の遊戯	趣味の遊戯	趣味の遊戯	趣味の遊戯
五判洋裝	四六判洋裝	五判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝
定價金四十七錢	定價金四十七錢	定價金四十七錢	定價金四十七錢	定價金四十七錢	定價金四十七錢	定價金四十七錢	定價金四十七錢	定價金四十七錢	定價金四十七錢	定價金四十七錢	定價金四十七錢	定價金四十七錢	定價金四十七錢	定價金四十七錢	定價金四十七錢	定價金四十七錢

東京市四谷區新宿 三友社 電話 二二七三番  
 東京市四谷區新宿 三友社 電話 二二七三番

◆書考參るあ薦推てしと書良優◆

角田政治著	橋本辰彦著	橋本辰彦著	橋本辰彦著	橋本辰彦著	橋本辰彦著	青木武助著	石塚好忠著	本多吉雄著	瀨尾 徹著	瀨尾 徹著	吉木利光著	古田兵衛著	古田兵衛著	古田兵衛著	中村ヨシ校閱	裁縫研究會著
自學自習	自學自習	自學自習	自學自習	自學自習	自學自習	自學自習	自學自習	自學自習	自學自習	自學自習	自學自習	自學自習	自學自習	自學自習	自學自習	自學自習
趣味の世界地理	趣味の日本地理	趣味の西洋歷史	趣味の東洋歷史	趣味の日本歷史	趣味の日本地理	中等日本史	漢文の解釋と文法	代數學の解き方	中等一二年の代數	代數	化學	化學	化學	化學	化學	化學
上送金壹圓十拾錢	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝	四六判洋裝
下送金十二錢	定價金壹圓九拾錢	定價金壹圓九拾錢	定價金壹圓九拾錢	定價金壹圓九拾錢	定價金壹圓九拾錢	定價金壹圓九拾錢	定價金壹圓九拾錢	定價金壹圓九拾錢	定價金壹圓九拾錢	定價金壹圓九拾錢	定價金壹圓九拾錢	定價金壹圓九拾錢	定價金壹圓九拾錢	定價金壹圓九拾錢	定價金壹圓九拾錢	定價金壹圓九拾錢

東京市四谷區新宿 三友社 電話 二二七三番  
 東京市四谷區新宿 三友社 電話 二二七三番



編著者	書名	定價	送料	内容解説
田制佐重著	社會思想讀本	1.20	.12	▼社會主義思想の如何なるものであるかを極めて理解し易く述べたものである。しかも、それは單なる常識でなしに學問的體系を具へ且つ、公正適確なる批評が施されてゐる。
田制佐重著	哲學思想讀本	1.20	.12	▼本書の研究せる哲學は生活經驗の生きた指導原理として、眞の人間の哲學です。明智・希望と力とに充てる人生の禮讚より善き明日の打開への努力者に寄與する哲學である。
山田わか著	昭和婦人讀本 處女篇	1.00	.10	▼現代女性への思想的覺醒の公開です。現代女性思想讀本です。女子教育は進歩したと謂はれます。然し、女子の自覺の伸展せざる思想信念の混沌たる、又、社會が、男性が女子つ文化的創造力に對する理解の徹底せざる、思へば女性の正しき地歩は明日に求むべきでせうこの兩書によつて女性の眞の美に誇り、女性の大きき地歩を築くことこそ現代女性の榮譽でせう。
山田わか著	昭和婦人讀本 家庭篇	1.00	.08	▼子供の全人的な生長を希ふためには名作文學の力に俟たなければならぬといふことは最早や異論の餘地はなくなりました。この讀本は東西古今に亘り世界を通じて不朽の文學的名作と稱して憚らぬもの、而もその中に於て讀物として興味盡きせぬ物語の類を子供に讀ませるために原作の眞意なり、眞味なりを少しも損傷することなく多少の手加減を加へて採録したものです。
佐藤武編	世界名作物語讀本 1	2.50	.16	▼子供達はこの讀本によつて世界文學の大系を解すると共にその代表作を面白く味ふことが出来ます。
佐藤武編	世界名作物語讀本 2	2.50	.16	
佐藤武編	世界名作物語讀本 3	2.50	.16	

東京城元町 株式會社 文教書院 電話 三三五四 九七三

編著者	書名	定價	送料	内容解説
三浦圭三著	日本文學辭典	6.00	.24	▼本書は日本文學史上と人物・書名・事象を約三千項収録し、親切明快なる評・解を加へたもので難澁とされる此の種の知識整理に第一次本として忠實無比なる研究助手たるものです
三浦圭三著	合綜 日本文學全史	5.60	.24	▼著者十有幾年の努力の名著にして、その解釋力の正當、洞察力の鋭利、批評眼の精緻なるは斯界の至寶。加へてその文章の暢達流麗なるは讀者をして自らその浩瀚を忘れしめる
三上博士序 瀨川頼太郎著	國史と國史教育 (上)	3.50	.14	▼小學國史の具體的綜合的研究とその指導方法を述べたもので、歴史研究の參考書として、また國史教授の參考書としても稀に見る努力の好著である、三上博士は本書の序に於て「本書の完成は敬服すべき努力の結果であり、且つ教育者たる著者が、歴史家たる任務をも兼ね果したもので、歴史教育上甚だ有意義の好著である」と賞讃されて居る。
三上博士序 瀨川頼太郎著	國史と國史教育 (下)	4.50	.14	本書の特色要約 — 學習原理 地理科學の目的觀に筆を起し、各地理要素の取扱方法を懇切に説明す。 學習細目 各要素に亘り學習の要旨・要項・準備諸注意を明示し教授細目を兼ねぬ。 實際指導 兒童の學習を本位とし其の實際指導法を詳説し指導上の諸注意を擧ぐ。 教材研究 自然、人文兩方面の最新正確なる材料を以て精密に研究し學習の興味化を圖る 地理辭典 地勢・産業・交通・郡邑の詳細なる卷末索引は優に一箇の地理辭典。
稻葉晴忠著	地理と地理教育 (上)	3.50	.18	
稻葉晴忠著	地理と地理教育 (中)	5.50	.18	
稻葉晴忠著	地理と地理教育 (下)	4.50	.18	

東京城元町 株式會社 文教書院 電話 三三五四 九七三



編著者	書名	送定料價	内 容 解 説
及川泰治著	趣味の小學地理 日本上	2.50 .16	▼面白味を多くするために、記事は見學談體となし、産業上の事項は出来るだけ操業の實況を述べ、旅行趣味としては通路にあたる山川の風景や名高い古蹟を語り、地方の名物まで挙げ、間々地方に功勞のあつた人物を紹介し、交通は實益と趣味との兩方面より詳しく述べ往々詩歌をはさみて興を助けてある。
及川泰治著	趣味の小學地理 日本下	2.50 .16	▼理解を助けるために、多くの挿繪と地圖とをはさみ、また「話のくゝり」と云ふ項をまうけて話した事柄をまとめてある。
及川泰治著	趣味の小學地理 世界上	2.50 .16	▼樂に讀ませるために、全部の記事を口語文とし總振假名にしてある。
及川泰治著	趣味の小學地理 世界下	2.50 .16	この本は面白く理解よく書きつゞり、讀んで行く間に知らず識らず日本地理・世界地物が知り得らるゝやうに編んだものです。「趣味の小學地理」と名けたのはそのためです。
網野武雄著	趣味の小學理科 尋四	2.50 .16	▼類のない理科學習書です。児童生活に即した教育的讀物として、本書ほど成功してゐるものは稀れだと思ひます。とかく無味乾燥にながれ、理窟の押賣りに陥りやすい理科が、さながら童話や物語でも讀もやうな面白さで児童たちを親ませます。児童と對坐して理科を語り、児童とともに理科を了解しようと努めるのが著者の態度です。児童の理解を容易ならしむるために、毎卷二百個、多きは三百個の鮮麗な挿繪を入れて親切を極めてゐます。すべてが見るからに教育眼を満足させてゐます。又教授書としても絶好の参考書です。
網野武雄著	趣味の小學理科 尋五	2.50 .16	
網野武雄著	趣味の小學理科 尋六	2.50 .16	

東 京 赤 城 牛 元 町 株 式 會 社 文 教 書 院 電 話 牛 込 三 一 七 九 振 替 東 京 四 四 三 五 三

編著者	書名	送定料價	内 容 解 説
濱田廣介著	ひろすけ童話讀本 1	1.80 .12	▼島崎藤村先生曰く「どんな面白いお話がこの本から出てくるでせう。眺めても眺めても飽きない青い蟬のやうな子供の世界のことがもつとお知りになりたくば、濱田小父さんのお話へお出で下さい。」
濱田廣介著	ひろすけ童話讀本 2	1.80 .12	ものを愛し、なつかしみ、したしむ心、それが作者の求めるもの一つです。
濱田廣介著	ひろすけ童話讀本 3	1.80 .12	詩的に、心もちを音楽的に出すやうに、それもまた作者の求める一つです。
桂田金造著	趣味の小學國史 尋五上	2.00 .14	それを読んでみて下さい。
桂田金造著	趣味の小學國史 尋五下	2.50 .16	▼歴史はむづかしいものでなく、面白いものである、どうしても知りたいものである、と云ふ感じを児童に起さしめることが歴史教授の大切な事柄であります。本書はそれを第一の主眼とし、児童をして國民的思想を、何の強いる所なく養はしめたいと云ふ願のもとに筆を進めました。それで、たゞ歴史の参考書としての使命ばかりでなく、児童によつて一つの興味ある讀物としての注意を出来る限り拂つた積りであります。配列及び内容は改訂された國定の歴史教科書に準據いたしました従つて、児童はこの書によつて學校に學ぶ所の歴史を十分に咀嚼することが出来ることゝ信じます。興味ある歴史教授を念とする教授者にとりまして、絶好の参考書であらうかと存じます。―著者―
桂田金造著	趣味の小學國史 尋六上	2.00 .14	
桂田金造著	趣味の小學國史 尋六下	2.50 .16	

東 京 赤 城 牛 元 町 株 式 會 社 文 教 書 院 電 話 牛 込 三 一 七 九 振 替 東 京 四 四 三 五 三



關機究研の一唯界縫裁事家國我

輯編所習講事家京東

縫裁及事家

毎月二回

分年ヶ半 錢十二部一 (共稅郵)圓三金 <事記要主の來以號刊創> 錢十二稅一郵

◇婦人雜誌の淨化を叫ぶ今日  
吾等は如何なる讀物を選択すべきか

家事教育の徹底	講東京女高師	甫守ふみ
裁縫を學ぶ人々に	教東京女高師	木下竹次
家事科と理化學	教東京女高師	倉林源四郎
體系的な生活より見た家事	教奈良女高師	石澤吉磨
裁縫科の能率問題	教東京女高師	寺尾きく
家事教授の現代化	教日本女子大	井上秀郎
家事科教師の修養	教東京高工	菱山平
漂白と纖維に關する知識	教東京女高師	成田
歐米に於ける裁縫教育の新潮	教東京女高師	早稲田
獨逸婦人の長所	教早稲田大學	林
女性解放の眞意義	教早稲田大學	諸
裁縫界の元老神田順子先生の印象	學第三高等學校教授	久

◇本誌は毎號學者教育家の權威ある執筆を得向上の指針を示す

京東座口替振 番二八三二七 社縫裁及事家 區込牛京東 地番七町榎

成城高等學校主事 小原國芳著 (三十三版)  
母のための教育學

四六版 上製七〇〇頁  
定價 三圓  
送料 十六錢

◇こんなに迄感謝を以て讀んで頂いた本ははじめてであり、而もその上巻紙型が一度烏有に歸したため、茲に著者は上巻を改訂しまして、これを吾が勤勞學園にて印刷しました。而も出來るだけ定價を低廉にいたしたい希望で居ります。◇ついではこの上下を合本として七百頁に近い大冊を特價三圓とするにいたしました。澤山賣れて愛讀されんことを期して居ります。(著者)

第一前篇 子孫崇拜と教育者としての母	第五後篇 眞の教育理想論
第二 結婚前の教育	第六 善の教育
第三 胎前と産後の教育	第七 美の教育
第四 胎前と産後の教育	第八 聖の教育
	第九 富の教育

成城高等學校教授 紀尾井龍著 (最新刊)  
母のための藝術學

挿繪 一五〇枚  
四六版 上製五〇〇頁  
定價 二圓五十錢  
送料 十二錢

藝術原理、美の原理を知つて頂いてそれを實際に應用して貰ふ育兒や家庭生活に適用して貰つたら私の目的は達せられたわけです。(著者)

一 美とは何か	六 繪の見方
二 藝術とは何か	七 感情について
三 自然と藝術	八 悲壯と喜劇
四 藝術のよしあし	九 滑稽と喜劇
五 繪の見方	

三二四五一京東替振 院書アデイ 區込牛市京東 六五 六三 込牛話電 四一町伏山 兌發







昭和三年十二月一日印刷  
 昭和三年十二月三日發行  
 昭和四年四月二十日再版印刷  
 昭和四年四月二十五日再版發行



優良圖書一覽

定價二圓五拾錢

東京高等師範學校構内  
 茗溪會讀物調査部  
 代表者 田中寬一  
 草場力  
 東京市麴町區飯田町六丁目十二番地  
 印刷者 村田豊吉  
 東京市京橋區新榮町五丁目七番地  
 印刷所 大倉印刷所  
 東京市京橋區新榮町五丁目七番地  
 發行所 昭和出版社  
 東京市麴町區飯田町六丁目十二番地  
 發兌元 松邑三松堂  
 東京市京橋區南鍛冶町



理學博士  
 農學博士

松村松年著

菊判クローリス装  
 函人繪挿畫數十冊  
 美本全一冊

定價參圓五十錢  
 送料十八錢

# 虫界の驚馬異

忽ち四版

● 茗溪會推薦の名著。大好評注文殺倒!!

凡そ生物界にあつて昆虫の生活程驚嘆すべきものはない。本書は昆虫學者として既に世界的權威たる松村博士が、その蘊蓄を傾けて昆虫の奇怪な本能や、不思議な習性を、既ににまた極めて興味深く講述されたものである。かくて神祕の扉は開かれ、謎は解かれ、平易にや昆虫學は萬人興味のある。學・家庭・圖書館等に必備の書たるを信じて疑はない。空前にして絶好の名著である。

● 虫界の犯罪!! 虫界の戀愛生活!! 虫界の戦争!! 虫界の母性愛!!

理學博士  
 農學博士

松村松年著

面白き虫界の教材

(最新刊)

定價 三・五〇  
 送料 一八

(内容目次)

蟬、螢、蟋蟀、蜻蛉、紋白蝶、蝶、長脚蜂、胡蜂、蜘蛛

發行所 東京東堂 町保神表田神京東  
 番〇七二京東替振  
 (電話自八八八番)  
 (神田至八八八番)











028  
M4485y  
(2)



00238363